

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2017年11月23日(23.11.2017)



(10) 国際公開番号

WO 2017/199415 A1

(51) 国際特許分類:
G06Q 50/14 (2012.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2016/064979

(22) 国際出願日: 2016年5月20日(20.05.2016)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(71) 出願人: 富士通株式会社(FUJITSU LIMITED)
[JP/JP]; 〒2118588 神奈川県川崎市中原区上小
田中4丁目1番1号 Kanagawa (JP).

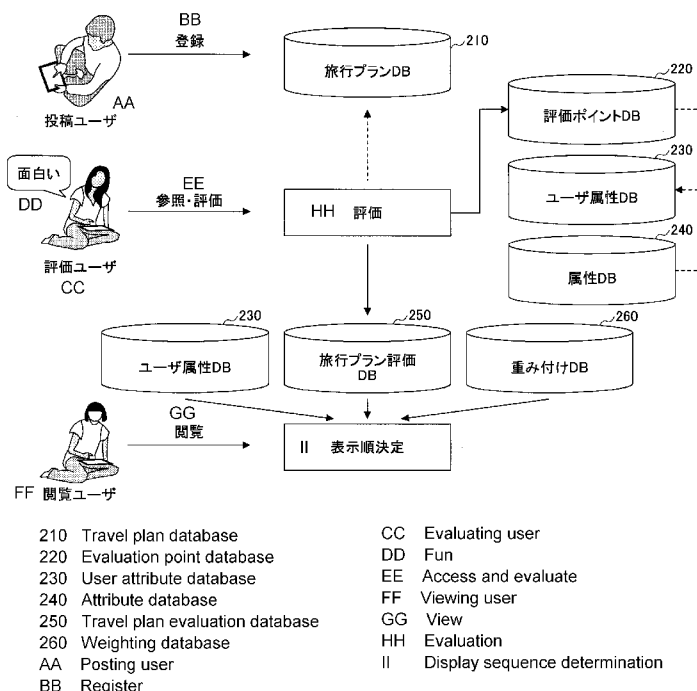
(72) 発明者: 赤間 猛(AKAMA, Takeshi); 〒1080075
東京都港区港南一丁目2番70号 株式会社富士
通システムズ・イースト内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 伊東 忠重, 外(ITO, Tadashige et al.);
〒1000005 東京都千代田区丸の内二丁目1
番1号 丸の内 M Y P L A Z A (明治安
田生命ビル) 16階 Tokyo (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ,
BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH,
CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ,
EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN,
HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR,
KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME,
MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO,
NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU,
RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY,

(54) Title: DISPLAY CONTROL PROGRAM, DISPLAY CONTROL DEVICE, AND DISPLAY CONTROL METHOD

(54) 発明の名称: 表示制御プログラム、表示制御装置及び表示制御方法



(57) Abstract: Provided is a display control program which causes a computer to execute processes of: accepting a registration of travel plans which have been associated with specific user accounts; accepting input of evaluations with respect to the registered travel plans; identifying attributes in relation to the specific user accounts in accordance with the input of the evaluations; and controlling the display of travel plans which are provided with respect to the specific user accounts in accordance with the identified attributes.

TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC,
VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 一 国際調査報告 (条約第21条(3))

(57) 要約: 特定のユーザアカウントに対応づけた旅行プランの登録を受け付け、登録された前記旅行プランに対する評価の入力を受け付け、前記評価の入力に応じて、前記特定のユーザアカウントについて属性を特定し、特定した前記属性に応じて、前記特定のユーザアカウントについて提供する旅行プランの表示を制御する、処理をコンピュータに実行させる。

明 細 書

発明の名称：

表示制御プログラム、表示制御装置及び表示制御方法

技術分野

[0001] 本発明は、表示制御プログラム、表示制御装置及び表示制御方法に関する。

背景技術

[0002] 従来では、ユーザからの提示要求に応じて旅行プランを提示するシステムが知られている。また、従来では、ユーザの評価により、投稿されたデータに順位を付与し、付与された順位に基づき投稿されたデータを携帯端末等に表示させる技術が知られている。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開2008-090560号公報

特許文献2：特開2013-073577号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 従来技術のシステムでは、例えば、評価の高い順に投稿データを表示する。投稿データの有用性は、投稿データが示す情報に対するユーザの関心に影響されるものである。従来技術のシステムは、投稿データが示す情報に対する関心が高いユーザと、投稿データが示す情報に対する関心が低いユーザとに対して、一律な表示順で投稿データを表示するものである。つまり、従来技術のシステムは、ユーザの関心に応じて、投稿データの表示を制御することが困難であった。

[0005] 1つの側面では、ユーザの属性に応じた旅行プランを表示させることが可能な表示制御プログラム、表示制御装置及び表示制御方法を提供することを目的としている。

課題を解決するための手段

[0006] 1つの態様では、特定のユーザアカウントに対応づけた旅行プランの登録を受け付け、登録された前記旅行プランに対する評価の入力を受け付け、前記評価の入力に応じて、前記特定のユーザアカウントについて属性を特定し、特定した前記属性に応じて、前記特定のユーザアカウントについて提供する旅行プランの表示を制御する、処理をコンピュータに実行させる。

[0007] 上記各処理は、上記各処理を実現する機能部、上記各処理を手順としてコンピュータにより実行させる方法、プログラムを記憶したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体とすることもできる。

発明の効果

[0008] ユーザの属性に応じた旅行プランを表示させることができる。

図面の簡単な説明

[0009] [図1]表示制御システムの概要を説明する図である。

[図2]第一の実施形態の表示制御システムのシステム構成を説明する図である。

[図3]第一の実施形態の表示制御サーバのハードウェア構成を説明する図である。

[図4]第一の実施形態の旅行プランデータベースの一例を示す図である。

[図5]第一の実施形態の評価ポイントデータベースの一例を示す図である。

[図6]第一の実施形態のユーザ属性データベースの一例を示す図である。

[図7]第一の実施形態の属性データベースの一例を示す図である。

[図8]第一の実施形態の旅行プラン評価データベースの一例を示す図である。

[図9]第一の実施形態の重み付けデータベースの一例を示す図である。

[図10]第一の実施形態の表示制御サーバの機能構成を説明する図である。

[図11]第一の実施形態の登録制御部による登録制御部の処理を説明する第一のフローチャートである。

[図12]第一の実施形態の登録制御部による処理を説明する第二のフローチャートである。

[図13]第一の実施形態の表示制御部の処理を説明する第一のフローチャートである。

[図14]第一の実施形態の表示制御部の処理を説明する第二のフローチャートである。

[図15]端末装置に表示される画面の例を示す図である。

[図16]第二の実施形態の表示制御システムのシステム構成を説明する図である。

[図17]第二の実施形態の旅行プランデータベースの一例を示す図である。

[図18]第二の実施形態のユーザ属性データベースの一例を示す図である。

[図19]第二の実施形態の旅行プラン評価データベースの一例を示す図である。

[図20]第二の実施形態の表示制御サーバの機能構成を説明する図である。

[図21]第二の実施形態の登録制御部による登録制御部の処理を説明する第一のフローチャートである。

[図22]第二の実施形態の登録制御部による処理を説明する第二のフローチャートである。

[図23]第二の実施形態の表示制御部による処理を説明する第二のフローチャートである。

[図24]第三の実施形態の表示制御システムのシステム構成を説明する図である。

[図25]第三の実施形態の表示制御サーバの機能構成を説明する図である。

[図26]第三の実施形態の表示制御部の処理を説明するフローチャートである。

[図27]第三の実施形態において端末装置に表示される画面の例を示す図である。

[図28]閲覧ユーザの属性と登録ユーザの属性とに基づく旅行プランの表示の処理を説明するフローチャートである。

発明を実施するための形態

[0010] (第一の実施形態)

以下に、図面を参照して第一の実施形態について説明する。図1は、表示制御システムの概要を説明する図である。

[0011] 本実施形態の表示制御システムでは、旅行プランの提示要求を行ったユーザに対し、旅行プランを評価した評価者の属性及び旅行プランの評価結果と、提示要求を行ったユーザの属性とに基づき、提示する旅行プランの表示順を決定する。

[0012] 本実施形態の表示制御システムは、ユーザの端末装置において旅行プランの登録を受け付けると、旅行プランと、旅行プランを登録したユーザの情報とを対応付けて、旅行プランデータベース210に格納する。以下の説明では、旅行プランを登録したユーザを登録ユーザと呼び、登録ユーザの情報を登録ユーザ情報と呼ぶ。

[0013] また、本実施形態の表示制御システムは、ユーザの端末装置において、旅行プランに対する評価が入力されると、登録ユーザ情報と、入力された評価内容に応じた評価ポイントから特定される属性とを対応付けて、ユーザ属性データベース230に格納する。評価内容と評価ポイントとは、予め評価ポイントデータベース220において予め対応付けられている。また、評価ポイントと登録ユーザ情報の属性とは、属性データベース240において予め対応付けられている。

[0014] また、表示制御システムは、旅行プランに対する評価が入力されると、評価対象の旅行プランと、評価内容及び評価ポイントと、評価を行ったユーザの情報と、このユーザの属性とを対応付けて、旅行プラン評価データベース250へ格納する。以下の説明では、旅行プランの評価を行ったユーザを評価ユーザと呼び、評価ユーザの情報を評価ユーザ情報と呼ぶ。

[0015] さらに、本実施形態の表示制御システムでは、ユーザの端末装置において、旅行プランの提示要求を受け付けると、ユーザ属性データベース230を参照し、提示要求を行ったユーザの属性を特定する。以下の説明では、旅行プランの提示要求を行ったユーザを、閲覧ユーザと呼び、閲覧ユーザの情報

を閲覧ユーザ情報と呼ぶ。

[0016] 表示制御システムは、閲覧ユーザの属性を特定すると、旅行プラン評価データベース250を参照し、評価ユーザの属性と、閲覧ユーザの属性との比較結果に基づく重み付けを行う。属性の比較結果と重みとは、重み付けデータベース260において、予め対応付けられている。

[0017] そして、表示制御システムは、重みに応じた順に、旅行プランの表示順を決定し、提示要求を受け付けた端末装置へ決められた表示順に旅行プランを表示させる。

[0018] 具体的には、表示制御システムは、閲覧ユーザの属性と、評価ユーザの属性とが近い旅行プランに付与する重みを大きくし、閲覧ユーザの属性と、評価ユーザの属性とが離れている旅行プランに付与する重みを小さくする。

[0019] 本実施形態では、以上のように、旅行プランの提示要求を受け付けると、旅行プラン毎に、提示要求を行った閲覧ユーザの属性と、旅行プランの評価を行った評価ユーザの属性との比較結果に応じた重みを付与する。そして、表示制御システムは、付与された重みにしたがって、旅行プランの表示順を決定し、閲覧ユーザの端末装置へ表示させる。

[0020] よって、本実施形態によれば、旅行プランの提示要求を行ったユーザに対し、ユーザの属性に応じた、ユーザの嗜好に合わせた旅行プランから順に提示することができる。

[0021] 尚、本実施形態では、登録ユーザ、評価ユーザ、閲覧ユーザのそれぞれが異なるユーザであっても良いし、登録ユーザと閲覧ユーザが同一のユーザであっても良いし、評価ユーザと閲覧ユーザが同一のユーザであっても良い。

[0022] つまり、本実施形態では、旅行プランを登録したユーザが、他のユーザが登録した旅行プランの評価を行うことも、旅行プランの提示要求を行うこともできる。また、旅行プランの評価を行ったユーザが、自身の考えた旅行プランを登録することもできるし、旅行プランの提示要求を行うこともできる。また、本実施形態では、閲覧ユーザが、自身が考えた旅行プランを登録することもできるし、他のユーザが登録した旅行プランの評価を行うこともで

きる。

[0023] また、本実施形態では、例えば自身が旅行プランを登録していなくても、他のユーザが登録した旅行プランに対する評価や、旅行プランの提示要求を行うことができる。

[0024] 次に、図2を参照して、本実施形態の表示制御システムについて説明する。図2は、第一の実施形態の表示制御システムのシステム構成を説明する図である。

[0025] 本実施形態の表示制御システム100は、表示制御サーバ200と、端末装置300-1、300-2、300-3、・・・、300-Nを有する。

[0026] 本実施形態の表示制御システム100において、端末装置300-1、300-2、300-3、・・・、300-Nは、表示制御サーバ200に対する旅行プランの登録、表示制御サーバ200に登録された旅行プランの評価、表示制御サーバ200に対する旅行プランの提示要求等が行われる。

[0027] 以下の説明では、端末装置300-1、300-2、300-3、・・・、300-Nについて、それぞれを区別しない場合には、単に端末装置300と呼ぶ。

[0028] 本実施形態の表示制御サーバ200は、旅行プランデータベース210、評価ポイントデータベース220、ユーザ属性データベース230、属性データベース240、旅行プラン評価データベース250、重み付けデータベース260と、を有する。

[0029] また、本実施形態の表示制御サーバ200は、表示制御処理部270を有する。表示制御処理部270は、登録制御部280、表示制御部290を有する。

[0030] 登録制御部280は、旅行プランデータベース210に対する旅行プランの登録、ユーザ属性データベース230に対する登録ユーザの評価ポイント及び属性の登録、旅行プラン評価データベース250に対する旅行プランの評価の登録を行う。

[0031] 表示制御部290は、旅行プランの提示要求を受け付けて、旅行プランの

表示順を決定し、端末装置へ表示させる。

[0032] 次に、図3を参照し、本実施形態の表示制御サーバ200のハードウェア構成について説明する。

[0033] 図3は、第一の実施形態の表示制御サーバのハードウェア構成を説明する図である。

[0034] 以下に、本実施形態の表示制御サーバ200について説明する。図2は、学習支援サーバのハードウェア構成の一例を示す図である。

[0035] 本実施形態の表示制御サーバ200は、それぞれバスBで相互に接続されている入力装置21、出力装置22、ドライブ装置23、補助記憶装置24、メモリ装置25、演算処理装置26及びインターフェース装置27を含む。

[0036] 入力装置21は、各種の情報を入力するためのものであり、例えばキーボードやマウス等で実現される。出力装置22は、各種の情報を出力するためのものであり、例えばディスプレイ等により実現される。インターフェース装置27は、モデム、LANカード等を含み、ネットワークに接続する為に用いられる。

[0037] 表示制御プログラムは、表示制御サーバ200を制御する各種プログラムの少なくとも一部である。表示制御プログラムは例えば記憶媒体28の配布やネットワークからのダウンロードなどによって提供される。表示制御プログラムを記録した記憶媒体28は、CD-ROM、フレキシブルディスク、光磁気ディスク等の様に情報を光学的、電氣的或いは磁氣的に記録する記憶媒体、ROM、フラッシュメモリ等の様に情報を電氣的に記録する半導体メモリ等、様々なタイプの記憶媒体を用いることができる。

[0038] また、表示制御プログラムは、表示制御プログラムを記録した記憶媒体28がドライブ装置23にセットされるとは記憶媒体28からドライブ装置23を介して補助記憶装置24にインストールされる。ネットワークからダウンロードされた表示制御プログラムは、インターフェース装置27を介して補助記憶装置24にインストールされる。

[0039] 補助記憶装置 24 は、インストールされた表示制御プログラムを格納すると共に、必要なファイル、データ等を格納する。メモリ装置 25 は、コンピュータの起動時に補助記憶装置 24 から表示制御プログラムを読み出して格納する。そして、演算処理装置 26 はメモリ装置 25 に格納された表示制御プログラムに従って、後述するような各種処理を実現している。

[0040] また、本実施形態の表示制御サーバ 200 は、例えばタブレット型のコンピュータ等であっても良い。その場合、入力装置 21 と出力装置 22 の代わりに、表示機能を有するタッチパネル等の表示操作装置を有していても良い。また、本実施形態の端末装置 300 は、一般のタブレット型のコンピュータやスマートフォン等であり、そのハードウェア構成は、図 3 に示す表示制御サーバ 200 と同様であるから、説明を省略する。

[0041] 次に、図 4 乃至図 9 を参照し、表示制御サーバ 200 の有する各データベースについて説明する。

[0042] 図 4 は、第一の実施形態の旅行プランデータベースの一例を示す図である。

[0043] 本実施形態の旅行プランデータベース 210 は、情報の項目として、旅行プラン名、登録ユーザ名、カテゴリ名、登録日を有する。項目「旅行プラン名」は、項目「登録ユーザ名」と、項目「カテゴリ名」と、項目「登録日」に対応付けられている。以下の説明では、項目「旅行プラン名」の値と、項目「登録ユーザ名」の値と、項目「カテゴリ名」の値と、項目「登録日」と、を含む情報を、旅行プラン情報と呼ぶ。

[0044] 項目「旅行プラン名」の値は、旅行プランの名称を示す。旅行プランの名称は、例え登録ユーザにより入力されても良いし、予め用意された選択肢から選択されても良い。

[0045] 項目「登録ユーザ名」の値は、対応する旅行プランを登録したユーザの名称を示す。項目「カテゴリ名」の値は、対応する旅行プラン名が含まれるカテゴリの名称を示す。

[0046] 尚、本実施形態では、旅行プランを登録したユーザを特定する登録ユーザ

情報（ユーザアカウント）として、登録ユーザ名を旅行プラン名に対応付けるものとしたが、これに限定されない。旅行プランデータベース 210 では、登録ユーザ名の代わりに、ユーザ ID 等が用いられても良い。

[0047] 項目「登録日」は、対応する旅行プラン名の旅行プランが登録された日付を示す。

[0048] 図 4 では、例えば、旅行プラン情報 211 では、旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」という旅行プランが 2016 年 4 月 10 日にユーザ名「A A」によって登録され、カテゴリ「溪流釣り」に分類されていることがわかる。

[0049] 図 5 は、第一の実施形態の評価ポイントデータベースの一例を示す図である。

[0050] 本実施形態の評価ポイントデータベース 220 は、予め表示制御システム 100 の管理者等により設けられるものである。評価ポイントデータベース 220 は、情報の項目として、評価内容と、評価ポイントとを有する。項目「評価内容」と、項目「評価ポイント」とは、対応付けられている。

[0051] 項目「評価内容」の値は、評価の内容を示す。項目「評価ポイント」の値は、評価内容に対応した値を示す。本実施形態では、項目「評価ポイント」の値が大きいほど、評価が高いことを示すものとした。

[0052] 図 5 では、例えば評価内容「面白い」には、評価ポイント「10」が対応付けられており、評価内容「役立った」には、評価ポイント「20」が対応付けられており、評価内容「行ってみた」には、評価ポイント「50」が対応付けられていることがわかる。

[0053] 図 6 は、第一の実施形態のユーザ属性データベースの一例を示す図である。

[0054] 本実施形態のユーザ属性データベース 230 は、情報の項目として、ユーザ名、カテゴリ名、属性、合計評価ポイントを有する。本実施形態のユーザ属性データベース 230 では、項目「ユーザ名」と、項目「カテゴリ名」、項目「属性」、項目「合計評価ポイント」とが対応付けられている。以下の説明では、項目「ユーザ名」の値と、その他の項目の値とを含む情報をユー

ザ属性情報と呼ぶ。

[0055] 項目「ユーザ名」の値は、属性が付与されているユーザの名称を示す。尚、ユーザ属性データベース230では、属性が付与されたユーザを特定する情報として、ユーザ名を用いているが、これに限定されない。ユーザ属性データベース230では、ユーザ名以外のユーザアカウントを用いても良い。

[0056] 項目「属性」の値は、項目「合計評価ポイント」の値に応じ、属性データベース240に基づき付与される。項目「合計評価ポイント」の値は、ユーザ名と一致する登録ユーザ名と対応付けられた旅行プランに対して、評価が入力される度に付与される評価ポイントの合計値である。

[0057] 図6では、例えば、ユーザ名「AA」は、カテゴリ名「溪流釣り」において、属性は「マニア」であり、合計評価ポイントは「180」であることがわかる。また、ユーザ名「AA」は、カテゴリ名「花見」において、属性は「ファン」であり、合計評価ポイントは「70」であることがわかる。

[0058] このように、本実施形態では、旅行プランのカテゴリ名毎に、属性が付与されている。したがって、本実施形態では、同一のユーザに対して、カテゴリ毎に複数の属性が付与される場合がある。

[0059] 図7は、第一の実施形態の属性データベースの一例を示す図である。本実施形態の属性データベース240は、予め表示制御システム100の管理者等により設けられるものである。

[0060] 本実施形態の属性データベース240は、情報の項目として、属性と合計評価ポイントとを有する。

本実施形態では、合計評価ポイントが150以上のユーザの属性を「マニア」とし、合計評価ポイントが80以上149以下のユーザの属性を「フリーク」とし、合計評価ポイントが1以上79以下のユーザの属性を「ファン」としている。また、本実施形態では、合計評価ポイントが0のユーザの属性を「一般」としている。合計評価ポイントが0のユーザとは、例えば登録した旅行プランが誰からも評価されていないユーザや、又は旅行プランを登録していないユーザ等である。

[0061] 以上のように、本実施形態では、合計評価ポイントの値が大きいほど、評価対象に対する関心が高いことを示す属性が付与されることがわかる。本実施形態では、評価対象とは、旅行プランが属するカテゴリである。また、本実施形態では、合計評価ポイントに応じて、段階的に属性が付与されるように、属性データベース240を生成している。

[0062] 具体的には、例えば、最も旅行プランが属するカテゴリに関心が強いとされる属性は、「マニア」である。その次に旅行プランが属するカテゴリに関心が強いとされる属性は、「フリーク」である。この2つの属性には、1段階の差があると言える。

[0063] また、最も旅行プランが属するカテゴリに対する関心が薄いとされる属性は、「一般」である。したがって、属性「マニア」と属性「一般」の間には、3段階の差があると言える。

[0064] 図8は、第一の実施形態の旅行プラン評価データベースの一例を示す図である。

[0065] 本実施形態の旅行プラン評価データベース250は、情報の項目として、旅行プラン名、評価ユーザ名、カテゴリ名、評価ユーザの属性、評価内容、評価ポイントを有する。旅行プラン評価データベースでは、項目「旅行プラン名」と、その他の項目とが対応付けられている。以下の説明では、項目「旅行プラン名」の値と、その他の項目の値とを含む情報を、旅行プラン評価情報と呼ぶ。

[0066] 項目「評価ユーザ名」の値は、評価内容を入力したユーザを特定するためのユーザの名称である。項目「評価ユーザの属性」の値は、評価ユーザ名と対応付けられた属性を示す。

[0067] 尚、旅行プラン評価データベース250でも、他のデータベースと同様に、評価ユーザ情報として、評価ユーザ名の代わりにユーザID等を用いても良い。

[0068] 図8では、例えば、旅行プラン評価情報251では、カテゴリ名「溪流釣り」、旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」である旅行プランに、属性「フ

リーク」のユーザ名「E E」に、「役立った」と評価し、評価ポイント「20」が付与されたことがわかる。

[0069] 本実施形態の旅行プラン評価データベース250は、登録制御部280が旅行プランに対する評価の入力を受け付けるたびに、入力された評価から生成される旅行プラン評価情報が追加されていく。

[0070] 図9は、第一の実施形態の重み付けデータベースの一例を示す図である。

[0071] 本実施形態の重み付けデータベース260は、情報の項目として、属性間の距離と、重みとを有する。属性間の距離と、重みとは、対応付けられている。

[0072] 項目「属性間の距離」は、比較される2つの属性間の段階の差を示している。項目「重み」の値は、属性間の距離に対応した重みを示す。

[0073] 図9では、属性間の距離「0」のとき重みは「5倍」であり、属性間の距離「1」のとき重みは「2倍」である。また、属性間の距離「3」のとき重みは「0倍」である。

[0074] つまり、本実施形態では、属性間の距離が近いほど、付与される重みが大きくなり、属性間の距離が遠いほど、付与される重みは小さくなる。

[0075] 例えば、2つの属性が、両方とも「マニア」であった場合には、どちらの属性も同じ段階となる。したがって、付与される重みは、最も大きい「5倍」となる。

[0076] また、例えば、2つの属性が「ファン」と「一般」であった場合には、両者の間に2段階の差があると言える。したがって、2つの属性「ファン」と属性「一般」との距離は「2」であり、付与される重みは「1倍」となる。

[0077] 本実施形態の重みは、表示制御部290によるマッチング点数の算出の際に用いられる。マッチング点数とは、旅行プランに対する、旅行プランの提示要求を行った閲覧ユーザの関心の高さを示す指標値である。

[0078] 次に、図10を参照し、本実施形態の表示制御サーバ200の機能について説明する。図10は、第一の実施形態の表示制御サーバの機能構成を説明する図である。

- [0079] 本実施形態の表示制御サーバ２００は、表示制御処理部２７０を有する。
本実施形態の表示制御処理部２７０は、表示制御サーバ２００の演算処理装置２６が、補助記憶装置２５等に格納された表示制御プログラムを読み出して実行することにより、実現される。
- [0080] 本実施形態の表示制御処理部２７０は、登録制御部２８０と表示制御部２９０を有する。はじめに、登録制御部２８０について説明する。
- [0081] 本実施形態の登録制御部２８０は、入力受付部２８１、カテゴリ付与部２８２、旅行プラン格納部２８３、データベース検索部２８４、評価ポイント加算部２８５、属性変更判定部２８６、評価情報生成部２８７、評価情報格納部２８８を有する。
- [0082] 入力受付部２８１は、表示制御サーバ２００に対する入力を受け付ける。
具体的には、入力受付部２８１は、旅行プランの入力と、旅行プランに対する評価の入力とを受け付ける。
- [0083] カテゴリ付与部２８２は、入力受付部２８１が受け付けた旅行プラン名を解析し、解析結果に応じて、旅行プラン名に、旅行プラン名が分類されるカテゴリを付与する。具体的には、カテゴリ付与部２８２は、単語と、カテゴリが対応付けられたテーブル等を有しており、旅行プラン名の形態素解析等を行った結果として得られた単語と対応付けられたカテゴリを、旅行プランが分類されるカテゴリとしても良い。
- [0084] 旅行プラン格納部２８３は、入力受付部２８１が受け付けた登録ユーザ名と、旅行プラン名と、カテゴリ付与部２８２により付与されたカテゴリの名称と、旅行プランの入力を受け付けた日付とを対応付けて、旅行プランデータベース２１０に格納する。つまり、旅行プラン格納部２８３は、入力受付部２８１が受け付けた登録ユーザ名と、旅行プラン名と、カテゴリ付与部２８２により付与されたカテゴリの名称と、から旅行プラン情報を生成し、旅行プランデータベース２１０へ登録する。
- [0085] データベース検索部２８４は、各情報をキーとして、各データベースを検索する。具体的には、データベース検索部２８４は、旅行プラン名で旅行プ

ランデータベース 210 を検索したり、ユーザ名でユーザ属性データベース 230 を検索したり、カテゴリ名で旅行プラン評価データベース 250 を検索したりする。

[0086] 評価ポイント加算部 285 は、入力受付部 281 が旅行プランに対する評価を受け付ける度に、評価内容と対応する評価ポイントを、ユーザ属性データベース 230 の該当するユーザ名と対応する合計評価ポイントに加算する。

[0087] 属性変更判定部 286 は、ユーザ属性データベース 230 において、評価ポイント加算部 285 による評価ポイントの加算を行った後に、属性データベース 240 を参照し、該当するユーザ名と対応する属性が変更されるか否かを判定する。

[0088] つまり、評価ポイント加算部 285 と、属性変更判定部 286 は、ユーザ属性データベース 230 に対して情報の登録を行う。

[0089] 評価情報生成部 287 は、入力受付部 281 が受け付けた旅行プラン名と、評価ユーザ名と評価内容と、から、旅行プラン評価情報を生成する。旅行プラン評価情報の生成の詳細は、後述する。

[0090] 評価情報格納部 288 は、評価情報生成部 287 により生成した旅行プラン評価情報を旅行プラン評価データベース 250 へ格納する。

[0091] 次に、表示制御部 290 について説明する。本実施形態の表示制御部 290 は、入力受付部 291、属性特定部 292、評価情報抽出部 293、マッチング点数算出部 294、表示順決定部 295、画面データ出力部 296 を有する。

[0092] 入力受付部 291 は、表示制御サーバ 200 に対する入力を受け付ける。具体的には、入力受付部 291 は、端末装置 300 からの旅行プランの提示要求の入力を受け付ける。旅行プランの提示要求は、旅行プランのカテゴリと、提示要求を行ったユーザの情報と共に入力される。提示要求を行ったユーザの情報とは、例えば閲覧ユーザ名である。

[0093] 属性特定部 292 は、ユーザ属性データベース 230 を参照し、入力受付

部 2 9 1 が受け付けた閲覧ユーザ名と対応する属性を特定する。

- [0094] 評価情報抽出部 2 9 3 は、旅行プラン評価データベース 2 5 0 を参照し、入力受付部 2 9 1 が受け付けた旅行プランのカテゴリとカテゴリ名が一致する旅行プラン評価情報を抽出する。
- [0095] マッチング点数算出部 2 9 4 は、重み付けデータベース 2 6 0 を参照し、閲覧ユーザの属性と、旅行プラン評価情報に含まれる評価ユーザの属性とを比較した結果に基づき、旅行プラン毎のマッチング点数を算出する。マッチング点数算出部 2 9 4 の詳細は後述する。
- [0096] 表示順決定部 2 9 5 は、算出された旅行プラン毎のマッチング点数に基づき、評価情報抽出部 2 9 3 により抽出された旅行プラン評価情報に含まれる旅行プランの表示順を決定する。
- [0097] 画面データ出力部 2 9 6 は、決定された表示順にしたがって旅行プランを表示させる画面の画面データを生成し、端末装置 3 0 0 へ出力する。
- [0098] 尚、本実施形態では、画面データを生成して出力するものとしたが、これに限定されない。表示制御部 2 9 0 は、例えば表示順決定部 2 9 5 により決定された表示順と、表示させる旅行プラン名とを端末装置 3 0 0 に出力しても良い。この場合は、端末装置 3 0 0 が、旅行プラン名を表示順にしたがって表示させる画面を端末装置 3 0 0 に表示させる。
- [0099] 次に、マッチング点数算出部 2 9 4 について説明する。本実施形態のマッチング点数算出部 2 9 4 は、重み付け部 2 9 7、旅行プラン名抽出部 2 9 8、点数合算部 2 9 9 を有する。
- [0100] 重み付け部 2 9 7 は、閲覧ユーザの属性と、旅行プラン評価情報に含まれる評価ユーザの属性とを比較結果と、重み付けデータベース 2 6 0 とから、付与する重みを決定し、旅行プラン評価情報に含まれる評価ポイントに重み付けを行う。
- [0101] 旅行プラン名抽出部 2 9 8 は、旅行プラン評価情報から、旅行プラン名を抽出する。より具体的には、旅行プラン名抽出部 2 9 8 は、評価情報抽出部 2 9 3 により抽出された旅行プラン評価情報の中から、ある旅行プラン名と

、旅行プラン名が一致する旅行プラン評価情報を抽出する。

[0102] 点数合算部 299 は、旅行プラン評価情報において、旅行プラン名が一致するもの同士の重みが付与された評価ポイントを合算する。

[0103] 以下に、図 11 乃至図 14 を参照し、本実施形態の表示制御処理部 270 の処理を説明する。はじめに、図 11 及び図 12 を参照し、本実施形態の登録制御部 280 の処理について説明する。

[0104] 図 11 は、第一の実施形態の登録制御部による登録制御部の処理を説明する第一のフローチャートである。図 11 では、登録制御部 280 による、旅行プランの登録の処理を説明する。

[0105] 本実施形態の登録制御部 280 は、入力受付部 281 により、ユーザ名と、旅行プランの入力を受け付けた否かを判定する（ステップ S1101）。

[0106] 尚、本実施形態の表示制御サーバ 200 は、例えば端末装置 300 から旅行プランの登録要求を受け付けると、旅行プランの登録画面を端末装置 300 に表示させても良い。旅行プランの登録画面とは、例えば画面に地図や、地域毎の観光スポット等を表示させ、ユーザに、訪れたい地域や観光スポット等を選択させる画面であっても良い。また、旅行プランの登録画面には、ユーザが登録した旅行プランの名称（旅行プラン名）を入力させる入力欄が設けられるものとした。

[0107] さらに、本実施形態では、旅行プランの登録画面を表示させる前に、端末装置 300 にログイン画面を表示させ、ログイン画面において、ユーザ名を入力させても良い。

[0108] ステップ S1101 において、ユーザ名と旅行プラン名の入力を受け付けない場合、登録制御部 280 は、入力を受け付けるまで待機する。

[0109] ステップ S1101 において、ユーザ名と旅行プラン名の入力を受け付けると、登録制御部 280 は、カテゴリ付与部 282 により、入力された旅行プラン名のテキストデータを解析して解析結果に基づくカテゴリ名を取得し、旅行プラン名と対応付ける（ステップ S1102）。

[0110] 続いて、登録制御部 280 は、旅行プラン格納部 283 により、入力を受

け付けたユーザ名を旅行プラン名とカテゴリ名と対応付けた旅行プラン情報として、旅行プランデータベース210へ格納し（ステップS1103）、処理を終了する。

[0111] 図12は、第一の実施形態の登録制御部による処理を説明する第二のフローチャートである。図12では、ユーザ属性データベース230と旅行プラン評価データベース250を更新する処理について説明する。

[0112] 本実施形態の登録制御部280は、入力受付部281により、旅行プランの評価内容と、評価を行うユーザのユーザ名の入力を受け付けた否かを判定する（ステップS1201）。尚、本実施形態では、評価を行うユーザは、事前に表示制御システム100にログインしているものとした。したがって、評価要求は、評価要求を行った評価ユーザのユーザ名と共に入力される。

[0113] ステップS1201において、評価内容の入力を受け付けていない場合、登録制御部280は、評価内容の入力を受け付けるまで待機する。

[0114] ステップS1201において、評価内容の入力を受け付けると、登録制御部280は、データベース検索部284は、評価ポイントデータベース220を参照し、入力された評価内容と対応する評価ポイントを取得して保持する（ステップS1202）。

[0115] 続いて、登録制御部280は、データベース検索部284により、入力された評価ユーザ名でユーザ属性データベース230を検索し、評価ユーザの属性を取得して保持する（ステップS1203）。尚、本実施形態では、ユーザ属性データベース230において、評価ユーザ名が存在しない場合、つまり、評価ユーザの属性が特定されていない場合には、評価ユーザの属性を「一般」とする。

[0116] 続いて、登録制御部280は、データベース検索部284により、評価対象とされた旅行プラン名で旅行プランデータベース210を検索し、カテゴリ名と、評価対象の旅行プランを登録した登録ユーザ名とを取得する（ステップS1204）。

[0117] 続いて登録制御部280は、評価情報生成部287により、旅行プラン名

、評価ユーザ名、カテゴリ名、評価ユーザの属性、評価内容、評価ポイント
を対応付けた旅行プラン評価情報を生成する。そして、評価情報格納部 2 8
8 により、生成した旅行プラン評価情報を旅行プラン評価データベース 2 5
0 へ格納する（ステップ S 1 2 0 5）。この処理により、旅行プラン評価デ
ータベース 2 5 0 の更新の処理が完了する。

[0118] 次に、登録制御部 2 8 0 は、データベース検索部 2 8 4 により、評価対象
の旅行プランを登録した登録ユーザ名で、ユーザ属性データベース 2 3 0 を
検索し、登録ユーザの合計評価ポイントを取得する。そして、登録制御部 2
8 0 は、評価ポイント加算部 2 8 5 により、登録ユーザ名の合計評価ポイン
トに、ステップ S 1 2 0 8 で取得した評価ポイントを加算する（ステップ S
1 2 0 6）。

[0119] 続いて登録制御部 2 8 0 は、属性変更判定部 2 8 6 により、属性データベ
ース 2 4 0 を参照し、登録ユーザの属性が、評価ポイントの加算後に変更す
るか否かを判定する（ステップ S 1 2 0 7）。

[0120] ステップ S 1 2 0 7 において、属性の変更がない場合には、登録制御部 2
8 0 は、ユーザ属性データベース 2 3 0 の更新の処理を終了する。ステップ
S 1 2 0 7 において、属性の変更がある場合には、登録制御部 2 8 0 は、登
録ユーザの属性を変更し（ステップ S 1 2 0 8）、ユーザ属性データベース
2 3 0 の更新の処理を終了する。

[0121] 以上が、表示制御処理部 2 7 0 の有する登録制御部 2 8 0 の処理である。
次に、図 1 3 及び図 1 4 を参照し、表示制御部 2 9 0 の処理について説明す
る。

[0122] 図 1 3 は、第一の実施形態の表示制御部の処理を説明する第一のフローチ
ャートである。図 1 3 では、旅行プランの提示要求を受けた際の表示制御部
2 9 0 の処理を示している。

[0123] 本実施形態の表示制御部 2 9 0 は、入力受付部 2 9 1 により、カテゴリ名
と、旅行プランの提示要求の入力を受け付けたか否かを判定する（ステップ
S 1 3 0 1）。具体的には、入力受付部 2 9 1 は、旅行プランの提示要求と

共に、提示要求を行った閲覧ユーザのユーザ名の入力を受け付けたか否かを判定する。尚、提示要求を行った閲覧ユーザは、提示要求を行う前に、表示制御システム１００にログインしているものとし、提示要求を行った閲覧ユーザのユーザ名は、ログイン時に取得されていても良い。

[0124] ステップＳ１３０１において、入力を受け付けない場合、表示制御部２９０は、入力を受け付けるまで待機する。

[0125] ステップＳ１３０１において、入力を受け付けた場合、表示制御部２９０は、属性特定部２９２により、ユーザ属性データベース２３０に閲覧ユーザのユーザ名が存在するか否かを判定する（ステップＳ１３０２）。

[0126] ステップＳ１３０２において、該当するユーザ名がユーザ属性データベース２３０に存在する場合、属性特定部２９２は、閲覧ユーザのユーザ名と対応する属性を取得し（ステップＳ１３０３）、後述するステップＳ１３０５へ進む。

[0127] ステップＳ１３０２において、該当するユーザ名がユーザ属性データベース２３０に存在しない場合、属性特定部２９２は、閲覧ユーザの属性を「一般」とし（ステップＳ１３０４）、後述するステップＳ１３０５へ進む。

[0128] 表示制御部２９０は、評価情報抽出部２９３により、入力されたカテゴリ名で、旅行プラン評価データベース２５０を検索し、旅行プラン評価データベース２５０において、入力されたカテゴリ名と同一のカテゴリ名が含まれる旅行プラン評価情報を全て抽出する（ステップＳ１３０５）。

[0129] 続いて、表示制御部２９０は、マッチング点数算出部２９４により、抽出された旅行プラン評価情報に含まれる旅行プラン名毎に、マッチング点数を算出する（ステップＳ１３０６）。ステップＳ１３０６の詳細は後述する。

[0130] 続いて、表示制御部２９０は、表示順決定部２９５により、マッチング点数が高い旅行プランから順に、旅行プラン名の表示順を決定する（ステップＳ１３０７）。続いて、表示制御部２９０は、画面データ出力部２９６により、決定された表示順に旅行プラン名を表示させる画面データを生成し、旅

行プランの提示要求を送信した端末装置 300 へ、生成した画面データを出
力し（ステップ S 1308）、処理を終了する。

[0131] 次に、図 14 を参照して本実施形態のマッチング点数算出部 294 の処理
について説明する。図 14 は、第一の実施形態の表示制御部の処理を説明す
る第二のフローチャートである。図 14 は、図 13 のステップ S 1306 に
おけるマッチング点数算出部 294 の処理を示している。

[0132] 本実施形態のマッチング点数算出部 294 は、重み付け部 297 により、
評価情報抽出部 293 により抽出された旅行プラン評価情報のうち、先頭の
旅行プラン評価情報に含まれる評価ユーザの属性と評価ポイントとを抽出す
る（ステップ S 1401）。

[0133] 次に、重み付け部 297 は、図 13 のステップ S 1303 又はステップ S
1304 で取得した閲覧ユーザの属性と、旅行プラン評価情報に含まれる評
価ユーザの属性とを比較する（ステップ S 1402）。続いて、重み付け部
297 は、重み付けデータベース 260 を参照し、属性の比較の結果に応じ
た重みを、旅行プラン評価情報から抽出された評価ポイントに乗算する（ス
テップ S 1403）。

[0134] より具体的には、重み付け部 297 は、閲覧ユーザの属性と、評価ユーザ
の属性との距離を求め、重み付けデータベース 260 を参照し、2つの属性
の距離に応じた重み（倍率）を旅行プラン評価情報から抽出した評価ポイン
トに乗算する。

[0135] 続いて、マッチング点数算出部 294 は、旅行プラン名抽出部 298 によ
り、旅行プラン評価情報から旅行プラン名を抽出し、ステップ S 1403 で
求めた値と対応付けて保持する（ステップ S 1404）。

[0136] 続いて、マッチング点数算出部 294 は、抽出された旅行プラン評価情報
全てについて、処理を行ったか否かを判定する（ステップ S 1405）。

[0137] ステップ S 1405 において、全ての旅行プラン評価情報に処理を行って
いない場合、マッチング点数算出部 294 は、次の旅行プラン評価情報から
評価ユーザの属性と評価ポイントとを抽出し（ステップ S 1406）、ステ

ップS 1 4 0 2へ戻る。

[0138] ステップS 1 4 0 5において、抽出された全ての旅行プラン評価情報に処理を行った場合、マッチング点数算出部2 9 4は、点数合算部2 9 9により、旅行プラン名毎に保持された点数を合算し、旅行プラン名毎のマッチング点数を算出し（ステップS 1 4 0 7）、処理を終了する。

[0139] 以下に、図4乃至図9を参照し、本実施形態の表示制御処理部2 7 0の処理について具体的に説明する。

[0140] はじめに、登録制御部2 8 0の処理について説明する。

[0141] ここでは、表示制御サーバ2 0 0に、ユーザ名「A A」により「道央溪流釣りツアー」という旅行プランが入力された場合について説明する。

[0142] 登録制御部2 8 0は、ユーザ名「A A」のユーザにより、旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」が入力されると、テキストデータ「道央溪流釣りツアー」を解析し、カテゴリを「溪流釣り」とする。そして、登録制御部2 8 0は、ユーザ名「A A」、旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」、カテゴリ名「溪流釣り」を対応付けた旅行プラン情報2 1 1を旅行プランデータベース2 1 0へ格納する。

[0143] 次に、ユーザ名「A A」により登録された旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」の旅行プランが、ユーザ名「D D」により評価された場合について説明する。ここではユーザ名「D D」のユーザは、ユーザ名「A A」により登録された旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」の旅行プランに対して、「行ってみた」という評価内容を入力したこととする。

[0144] この場合、登録制御部2 8 0は、評価ポイントデータベース2 2 0を参照し、評価内容「行ってみた」と対応する評価ポイント「5 0」を取得する（図5参照）。そして、登録制御部2 8 0は、評価ユーザ名となるユーザ名「D D」の属性を特定する。ユーザ属性データベース2 3 0において、評価ユーザ名となるユーザ名「D D」は存在しないため、登録制御部2 8 0は、評価ユーザ名「D D」と対応する属性を「一般」とする（図6参照）。

[0145] 次に、登録制御部2 8 0は、評価対象の旅行プラン名「道央溪流釣りツア

ー」で、旅行プランデータベース210を検索し、登録ユーザ名「AA」と、カテゴリ名「溪流釣り」とを取得する（図4参照）。

[0146] そして、登録制御部280は、旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」、評価ユーザ名「DD」、カテゴリ名「溪流釣り」、評価ユーザ名の属性「一般」、評価内容「行ってみた」、評価ポイント「50」を対応付けた旅行プラン評価情報252を生成し、旅行プラン評価データベース250へ格納する（図8参照）。

[0147] 次に、登録制御部280は、ユーザ属性データベース230を参照し、評価対象の旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」の登録ユーザ名「AA」のカテゴリ名「溪流釣り」における合計評価ポイント「180」を取得する（図6参照）。そして、登録制御部280は、合計評価ポイント「180」に、今回評価ユーザ「DD」の評価により付与された評価ポイント「50」を加算する。

[0148] ここで、登録ユーザ名「AA」のカテゴリ名「溪流釣り」における合計評価ポイントは「230」となる。

[0149] このとき、登録制御部280は、属性データベース240を参照し、登録ユーザの属性が変更されるか否かを判定する。ここでは、評価ポイントが150以上のユーザの属性は、全て「マニア」となるため、ユーザ名「AA」の属性は変更されないことがわかる（図7参照）。

[0150] 次に、表示制御部290の処理について説明する。

[0151] ここでは、ユーザ名「EE」のユーザが、カテゴリ「溪流釣り」の旅行プランの提示要求を行ったものとして説明する。

[0152] 表示制御部290は、旅行プランの提示要求を受けて、ユーザ属性データベース230を参照し、ユーザ名「EE」の属性「フリーク」を特定する（図6参照）。

[0153] 次に表示制御部290は、旅行プラン評価データベース250から、カテゴリ名「溪流釣り」を含む旅行プラン評価情報251、252、253を抽出する。ここでは、カテゴリ名「溪流釣り」の旅行プラン名は、提示要求を

行ったユーザへの提示候補となる旅行プラン名である。

[0154] 続いて、表示制御部 290 は、抽出した旅行プラン評価情報 251、252、253 のそれぞれについて、マッチング点数を算出する。

[0155] マッチング点数とは、旅行プラン評価情報に含まれる旅行プラン名が示す旅行プランに対する、旅行プランの提示要求を行った閲覧ユーザの関心の高さを示す指標値である。

[0156] 表示制御部 290 は、旅行プラン評価情報 251 から評価ユーザの属性「フリーク」と評価ポイント「20」を抽出する。そして、表示制御部 290 は、評価ユーザの属性「フリーク」と、提示要求を行った閲覧ユーザ「EE」の属性「フリーク」とを比較する。両者は一致しているため、表示制御部 290 は、重み付けデータベース 260 から重み「5」を取得し、旅行プラン評価情報 251 に含まれる評価ポイント「20」に重み「5」を乗算する。そして、表示制御部 290 は、旅行プラン評価情報 251 に含まれる旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」と、乗算結果であるマッチング点数「100」とを対応付けて保持しておく。

[0157] 表示制御部 290 は、旅行プラン評価情報 252、253 に対しても同様の処理を行う。旅行プラン評価情報 252 では、評価ユーザの属性は「マニア」であるから、評価ポイント「20」に乗算される重みは「2」である。よって、表示制御部 290 は、旅行プラン評価情報 252 から、旅行プラン名「カナダでフィッシングライフ」と、マッチング点数「40」とを対応付けて保持する。

[0158] 旅行プラン評価情報 253 では、評価ユーザの属性は「一般」であるから、評価ポイント「50」に乗算される重みは「1」である。よって、表示制御部 290 は、旅行プラン評価情報 252 から、旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」と、マッチング点数「50」とを対応付けて保持する。

[0159] 次に、表示制御部 290 は、旅行プラン名毎に、マッチング点数を合算する。旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」と対応付けられているマッチング点数は、「100」と「50」である。よって、旅行プラン名「道央溪流釣

リツアー」のマッチング点数は「１５０」となる。また、旅行プラン名「カナダでフィッシングライフ」に対応付けられているマッチング点数は「４０」である。

[0160] したがって、旅行プラン名「道央溪流釣りツアー」の方が旅行プラン名「カナダでフィッシングライフ」よりもマッチング点数が高くなることがわかる。よって、表示制御部２９０は、旅行プラン名を「道央溪流釣りツアー」、「カナダでフィッシングライフ」の順に、提示要求を行った端末装置３００に表示させる。

[0161] このように、本実施形態では、旅行プランの提示要求を受けたとき、提示候補となる旅行プラン毎に、旅行プランを評価したユーザの属性が提示要求を行ったユーザの属性に近いほど、大きい値となる指標値を算出する。そして、本実施形態では、この指標値が大きい旅行プラン名から順に端末装置３００に表示させる。

[0162] したがって、本実施形態によれば、旅行プランの提示要求を行ったユーザの関心が高いと推察される旅行プラン名から順に提示要求を行ったユーザの端末装置３００に表示させることができ、ユーザの属性に応じた旅行プラン名を表示させることができる。

[0163] 以下に、表示制御サーバ２００により、端末装置３００に表示される画面の例について説明する。

[0164] 図１５は、端末装置に表示される画面の例を示す図である。図１５の画面１５１Ａは、旅行プランの評価内容の入力画面の例を示し、画面１５１Ｂは、提示要求を受けて旅行プランが表示された画面の例を示す。

[0165] 画面１５１Ａは、例えば端末装置３００のユーザが表示制御システム１００にログインし、表示制御処理部２７０による処理が開始されたときに、端末装置３００に表示されても良い。

[0166] 画面１５１Ａでは、カテゴリ選択欄１５２Ａ、検索ボタン１５３、旅行プラン表示欄１５４を有する。

[0167] カテゴリ選択欄１５２Ａは、プルダウンボタン１５２ａを有する。画面１

５１Ａでは、プルダウンボタン１５２ａが操作されると、カテゴリの選択肢が表示される。

[0168] 検索ボタン１５３は、表示させたい旅行プランの提示指示を行うためのボタンである。本実施形態では、画面１５１Ａにおいて、カテゴリ選択欄１５２Ａでカテゴリが選択され、検索ボタン１５３が操作されると、画面１５１Ａが画面１５１Ｂへ遷移する。

[0169] 旅行プラン表示欄１５４は、表示制御サーバ２００に登録された旅行プランのうち、新しい旅行プラン名から順に表示される。また、旅行プラン表示欄１５４では、旅行プラン毎に評価内容の入力欄１５５が表示される。

[0170] 例えば、旅行プラン名「福岡花見ツアー」と対応付けられる評価内容の入力欄１５５において、「面白い」が選択されると、旅行プラン「福岡花見ツアー」に対して、評価ユーザから「面白い」という評価内容がなされたことになる。

[0171] 画面１５１Ｂは、カテゴリ選択欄１５２Ａで、「溪流釣り」が選択された場合の、旅行プランの表示例であり、閲覧ユーザ「ＥＥ」により提示要求が行われた場合に、閲覧ユーザ「ＥＥ」の端末装置３００に表示される画面を示している。

[0172] 画面１５１Ｂは、旅行プラン表示欄１５６と、戻るボタン１５７とが表示されている。旅行プラン表示欄１５６では、画面１５１Ａの旅行プラン表示欄１５４に表示された旅行プランから、カテゴリ「溪流釣り」に含まれる旅行プランが抽出され、表示されている。さらに、旅行プラン表示欄１５６では、旅行プラン名毎にマッチング点数１５８が表示されている。

[0173] 画面１５１Ｂの例では、マッチング点数が高い旅行プラン名から順に表示されていることがわかる。

[0174] 以上のように、本実施形態によれば、旅行プランの提示要求（表示要求）を行った閲覧ユーザの属性と、旅行プランを評価した評価ユーザの属性とに基づき、閲覧ユーザの関心が高いと推察される旅行プランから順に表示させる。したがって、本実施形態によれば、ユーザの属性に応じた旅行プランを

表示させることができる。

[0175] (第二の実施形態)

以下に図面を参照して、第二の実施形態について説明する。第二の実施形態では、旅行プランの提示要求を受けた際に、旅行プランデータベースに格納された全ての旅行プランが提示候補となる点が、第一の実施形態と相違する。したがって、以下の第二の実施形態の説明では、第一の実施形態との相違点についてのみ説明し、第一の実施形態と同様の機能構成を有するものには、第一の実施形態の説明で用いた符号と同様の符号を付与し、その説明を省略する。

[0176] 本実施形態では、旅行プランをカテゴリに分類せず、ユーザ毎に1つの属性を付与するものとした。したがって、本実施形態では、旅行プランの提示要求を受け付けると、旅行プラン評価データベース250Aに格納されている全ての旅行プラン評価情報について、マッチング点数の算出を行う。

[0177] 図16は、第二の実施形態の表示制御システムのシステム構成を説明する図である。

[0178] 本実施形態の表示制御システム100Aは、表示制御サーバ200Aと、端末装置300を有する。

[0179] 本実施形態の表示制御サーバ200Aは、旅行プランデータベース210A、ユーザ属性データベース230A、旅行プラン評価データベース250Aを有する。また、本実施形態の表示制御サーバ200Aは、本実施形態の表示制御処理部270Aを有する。表示制御処理部270Aは、登録制御部280A、表示制御部290Aを有する。

[0180] 以下に本実施形態の旅行プランデータベース210A、ユーザ属性データベース230A、旅行プラン評価データベース250Aについて説明する。

[0181] 図17は、第二の実施形態の旅行プランデータベースの一例を示す図である。本実施形態の旅行プランデータベース210Aは、情報の項目として、旅行プラン名と登録ユーザ名とを有する。旅行プランデータベース210Aは、項目「カテゴリ名」を有していない点以外は、第一の実施形態と同様で

あるから、説明を省略する。

[0182] 図18は、第二の実施形態のユーザ属性データベースの一例を示す図である。本実施形態のユーザ属性データベース230Aは、情報の項目として、ユーザ名、属性、合計評価ポイントを有する。本実施形態のユーザ属性データベース230Aは、項目「カテゴリ名」を有していない点以外は、第一の実施形態と同様であるから、説明を省略する。

[0183] 図19は、第二の実施形態の旅行プラン評価データベースの一例を示す図である。本実施形態の旅行プラン評価データベース250Aは、情報の項目として、旅行プラン名、評価ユーザ名、評価ユーザの属性、費用か内容、評価ポイントを有する。本実施形態の旅行プラン評価データベース250Aは、項目「カテゴリ名」を有していない点以外は、第一の実施形態と同様であるから、説明を省略する。

[0184] 次に、図20を参照し、本実施形態の表示制御サーバ200Aの機能について説明する。図20は、第二の実施形態の表示制御サーバの機能構成を説明する図である。

[0185] 本実施形態の表示制御サーバ200Aは、表示制御処理部270Aを有する。本実施形態の表示制御処理部270Aは、登録制御部280Aと表示制御部290Aを有する。はじめに、登録制御部280Aについて説明する。

[0186] 本実施形態の登録制御部280Aは、入力受付部281、旅行プラン格納部283A、データベース検索部284、評価ポイント加算部285、属性変更判定部286、評価情報生成部287A、評価情報格納部288を有する。

[0187] 旅行プラン格納部283Aは、入力受付部281が受け付けた旅行プラン名と、登録ユーザ名とを対応付けて、旅行プランデータベース210Aに格納する。

[0188] 評価情報生成部287Aは、旅行プラン名、評価ユーザ名、評価ユーザの属性、評価内容、評価ポイントを対応付けた旅行プラン評価情報を生成する。

- [0189] 本実施形態の表示制御部 290A は、入力受付部 291、属性特定部 292、マッチング点数算出部 294、表示順決定部 295、画面データ出力部 296 を有する。表示制御部 290A の有する各部は、第一の実施形態と同様である。
- [0190] 次に、図 21 乃至図 23 を参照し、本実施形態の表示制御処理部 270A の処理を説明する。はじめに、図 21 及び図 22 を参照し、本実施形態の登録制御部 280A の処理について説明する。
- [0191] 図 21 は、第二の実施形態の登録制御部による登録制御部の処理を説明する第一のフローチャートである。図 21 では、登録制御部 280A による、旅行プランの登録の処理を説明する。
- [0192] 本実施形態の登録制御部 280A は、入力受付部 281 により、ユーザ名と、旅行プランの入力を受け付けた否かを判定する（ステップ S2101）。
- [0193] 続いて、登録制御部 280A は、旅行プラン格納部 283A により、入力を受け付けたユーザ名を旅行プランの名称（旅行プラン名）と対応付けて旅行プラン情報とし、旅行プランデータベース 210A へ格納し（ステップ S2102）、処理を終了する。
- [0194] 図 22 は、第二の実施形態の登録制御部による処理を説明する第二のフローチャートである。図 22 では、ユーザ属性データベース 230A と旅行プラン評価データベース 250A を更新する処理について説明する。
- [0195] 図 22 のステップ S2201 からステップ S2203 の処理は、図 12 のステップ S1201 からステップ S1203 までの処理と同様であるから、説明を省略する。
- [0196] ステップ S2203 に続いて、登録制御部 280A は、データベース検索部 284 により、評価対象とされた旅行プラン名で旅行プランデータベース 210A を検索し、評価対象の旅行プランを登録した登録ユーザ名とを取得する（ステップ S2204）。
- [0197] 続いて登録制御部 280A は、評価情報生成部 287A により、旅行プラン

ン名、評価ユーザ名、評価ユーザの属性、評価内容、評価ポイントを対応付けた旅行プラン評価情報を生成する。そして、評価情報格納部288により、生成した旅行プラン評価情報を旅行プラン評価データベース250Aへ格納する（ステップS2205）。この処理により、旅行プラン評価データベース250Aの更新の処理が完了する。

[0198] 図22のステップS2206からステップS2208までの処理は、図12のステップS1206からステップS1208までの処理と同様であるから、説明を省略する。

[0199] 次に、図23を参照し、本実施形態の表示制御部290Aの処理について説明する。図23は、第二の実施形態の表示制御部による処理を説明する第二のフローチャートである。

[0200] 図23のステップS2301からステップS2304までの処理は、図13のステップS1301からステップS1304までの処理と同様であるから、説明を省略する。

[0201] ステップS2303又はステップS2304に続いて、表示制御部290Aは、マッチング点数算出部294により、旅行プラン毎のマッチング点数を算出する（ステップS2305）。ステップS2305とステップS2306の処理は、図13のステップS1306とステップS1307の処理と同様であるから、説明を省略する。

[0202] 以上の処理により、本実施形態では、旅行プランのカテゴリに関係なく、提示要求を行ったユーザの関心が高そうな旅行プランを表示させることができる。

[0203] （第三の実施形態）

以下に図面を参照して第三の実施形態について説明する。第三の実施形態では、特定の属性のユーザに対し、ログイン後に外部のサーバから取得した旅行プラン名を表示させる点が、第一及び第二の実施形態と相違する。したがって、以下の第三の実施形態の説明では、第一及び第二の実施形態との相違点についてのみ説明し、第一及び第二の実施形態と同様の機能構成を有す

るものには、第一及び第二の実施形態の説明で用いた符号と同様の符号を付与し、その説明を省略する。

[0204] 図24は、第三の実施形態の表示制御システムのシステム構成を説明する図である。

[0205] 本実施形態の表示制御システム100Bは、表示制御サーバ200Bと、端末装置300を有する。また、本実施形態の表示制御サーバ200Bは、外部のサーバ400と通信を行う。

[0206] 本実施形態の表示制御サーバ200Bは、第一の実施形態の表示制御サーバ200の有する各データベースに加え、ユーザ属性データベース230Aを有する。また、本実施形態の表示制御サーバ200Bは、表示制御処理部270Bを有する。表示制御処理部270Bは、登録制御部280と、表示制御部290Bを有する。

[0207] 本実施形態において、サーバ400は、例えば旅行会社等により提供される旅行プランに関する情報が格納されたサーバ等である。本実施形態では、旅行プランの提示要求を行ったユーザの属性が、例えば「マニア」や「フリーク」等、旅行に対する関心が高いことを示す属性であった場合、ログイン後の画面に、このユーザが特に関心を持っていると思われるカテゴリをサーバ400へ通知する。そして、表示制御サーバ200Bは、サーバ400から、通知したカテゴリにおいて推奨される旅行プランを取得し、端末装置300に表示させても良い。

[0208] 言い換えれば、本実施形態では、旅行が好きなユーザのユーザ名と、このユーザが関心を持っているカテゴリとを旅行会社のサーバ400へ通知し、このカテゴリにおいて旅行会社が推奨する旅行プランを取得してユーザに提示する。

[0209] 以下に、図25を参照し、本実施形態の表示制御サーバ200Bの機能について説明する。図25は、第三の実施形態の表示制御サーバの機能構成を説明する図である。

[0210] 本実施形態の表示制御サーバ200Bは、表示制御処理部270Bを有す

る。本実施形態の表示制御処理部 270B は、表示制御部 290B を有する。

[0211] 本実施形態の表示制御部 290B は、第一の実施形態の表示制御部 290 の有する各部に加え、属性提供部 301、旅行プラン取得部 302 を有する。

[0212] 本実施形態の属性提供部 301 は、ログインされたユーザの属性が特定の属性であった場合に、ユーザに関する情報をサーバ 400 へ出力する。本実施形態において、サーバ 400 に提供される、ユーザに関する情報とは、ユーザ名と、このユーザが関心を持っているカテゴリとを含む。

[0213] 旅行プラン取得部 302 は、サーバ 400 から、端末装置 300 に表示させる旅行プラン名を取得する。

[0214] 次に、図 26 を参照して、本実施形態の表示制御部 290B の処理について説明する。図 26 は、第三の実施形態の表示制御部の処理を説明するフローチャートである。図 26 では、表示制御処理部 270B を実現する表示制御プログラムの起動要求を受けたときの表示制御部 290B の処理を示している。

[0215] 本実施形態の表示制御処理部 270B は、起動要求を受け付けたか否かを判定する（ステップ S2601）。ステップ S2601 において、起動要求を受け付けない場合、表示制御処理部 270B は、起動要求を受け付けるまで待機する。

[0216] ステップ S2601 において、起動要求を受け付けた場合、表示制御部 290B は、属性特定部 292 により、ログインしたユーザの属性を特定する（ステップ S2602）。具体的には、属性特定部 292 は、ユーザ属性データベース 230A を参照し、ログインしたユーザのユーザ名と対応付けられた属性を特定する。尚、ユーザ属性データベース 230A に該当するユーザ名が存在しない場合、表示制御部 290B は、ログインしたユーザの属性を一般としてステップ S2603 へ進んでも良いし、ステップ S2608 に進んでも良い。

- [0217] 続いて、表示制御部290Bは、属性提供部301により、特定した属性が「フリーク」以上であるか否かを判定する（ステップS2603）。ステップS2603において、特定した属性が「フリーク」未満である場合、表示制御部290Bは、後述するステップS2708へ進む。
- [0218] ステップS2603において、特定した属性が「フリーク」又は「マニア」であった場合、属性提供部301は、ユーザ属性データベース230において、このユーザと対応する属性のうち、「フリーク」以上のカテゴリを特定する（ステップS2604）。
- [0219] 続いて、属性提供部301は、ログインしたユーザのユーザ名と、属性が「フリーク」以上のカテゴリの名称（カテゴリ名）と、このカテゴリの属性とをサーバ400へ送信する（ステップS2605）。
- [0220] 続いて、表示制御部290Bは、旅行プラン取得部302により、サーバ400からカテゴリに対応した旅行プラン名を取得する（ステップS2606）。ここで取得される旅行プラン名は、サーバ400において、旅行会社等により推奨される旅行プランの名称である。
- [0221] 続いて、表示制御部290Bは、画面データ出力部296により、取得した旅行プラン名を端末装置300に表示させ（ステップS2607）、処理を終了する。
- [0222] 尚、ステップS2603において、特定した属性が「フリーク」未満の「ファン」又は「一般」である場合、表示制御部290Bは、旅行プランデータベース210を参照し、登録の日付が新しい順に旅行プランを取得して端末装置300に表示させ、（ステップS2608）、処理を終了する。
- [0223] 図27は、第三の実施形態において端末装置に表示される画面の例を示す図である。図27に示す画面271は、例えばユーザ名「AA」のユーザがログインした際に、端末装置300に表示される画面の例を示している。
- [0224] 画面271は、メッセージ表示欄272、カテゴリ表示欄273、旅行プラン表示欄274、検索画面ボタン275を有する。
- [0225] メッセージ表示欄272には、表示された旅行プランがユーザに対して推

奨される旅行プランであることを示すメッセージが表示される。カテゴリ表示欄 273 は、表示された旅行プランのカテゴリ名が表示される。旅行プラン表示欄 274 には、サーバ 400 から取得した旅行プラン名が表示される。

- [0226] ユーザ属性データベース 230A において、ユーザ名「AA」の属性は「マニア」であり、「フリーク」以上である（図 18 参照）。
- [0227] したがって、表示制御部 290B は、ユーザ属性データベース 230 を参照し、ユーザ名「AA」と対応する属性が「フリーク」以上であるカテゴリ名を特定する。ユーザ属性データベース 230 において、ユーザ名「AA」と対応する属性には、「ファン」と「マニア」がある。よって、属性提供部 301 は、属性が「マニア」のカテゴリ名「溪流釣り」を特定し、ユーザ名「AA」と、カテゴリ名「溪流釣り」と、属性「マニア」と、をサーバ 400 へ送信する。
- [0228] サーバ 400 は、サーバ 400 の有する旅行プランデータベースにおいて、カテゴリ名「溪流釣り」に分類された旅行プランの中から、属性「マニア」に対して推奨される旅行プランを抽出し、表示制御サーバ 200B へ送信する。尚、属性「マニア」に対して推奨される旅行プランは、例えばサーバ 400 において、予め用意されていても良い。
- [0229] 表示制御サーバ 200B は、旅行プラン取得部 302 により、サーバ 400 から送信された旅行プランを取得し、端末装置 300 に表示させる。
- [0230] したがって、画面 271 において、メッセージ表示欄 272 には、「「AA」さんにお勧めの旅行プラン」というメッセージが表示され、カテゴリ表示欄 273 には、カテゴリ名「溪流釣りツアー」が表示される。
- [0231] また、旅行プラン表示欄 274 には、サーバ 400 から取得した旅行プラン「アウトドアフィッシング」、「解禁直後ツアー」等が表示される。
- [0232] また、画面 271 では、検索画面ボタン 275 が操作されると、通常のログイン後に表示される画面 151A に遷移しても良い。
- [0233] 以上のように、本実施形態によれば、表示制御システム 100B において

付与されたユーザの属性と、ユーザのカテゴリ毎の属性とを外部のサーバ４００へ提供することで、旅行プランデータベース２１０に登録された旅行プラン以外の旅行プランの提示を受けることができる。

[0234] また、本実施形態では、ユーザの属性と、ユーザのカテゴリ毎の属性とを外部のサーバ４００へ提供するものとしたが、これに限定されない。表示制御サーバ２００Ｂは、例えばユーザの属性のみをサーバ４００へ提供しても良い。つまり、表示制御サーバ２００Ｂは、ユーザの旅行に対する関心の高さを示す情報を外部のサーバ４００に提供しても良い。

[0235] この場合、サーバ４００は、関心の高さに応じて旅行プランを表示制御サーバ２００Ｂに送信し、表示制御サーバ２００Ｂは、この旅行プランを端末装置３００に表示させても良い。

[0236] (変形例)

上述した各実施形態では、閲覧ユーザの属性と、提示候補の旅行プランを評価した評価ユーザの属性とに基づいて、閲覧ユーザの端末装置３００へ表示させる旅行プランの表示順を決定したが、以下の例では、閲覧ユーザの属性と、提示候補の旅行プランを登録した登録ユーザの属性とに基づいて、閲覧ユーザの端末装置３００へ旅行プランを表示させても良い。

[0237] 図２８は、閲覧ユーザの属性と登録ユーザの属性とに基づく旅行プランの表示の処理を説明するフローチャートである。

[0238] 図２８のステップＳ２８０１からステップＳ２８０５までの処理は、図１３のステップＳ１３０１からステップＳ１３０５までの処理と同様であるから、説明を省略する。

[0239] ステップＳ２８０３又はステップＳ２８０４に続いて、表示制御部２９０は、抽出された旅行プラン評価情報に含まれる旅行プラン名のうち、閲覧ユーザと属性が一致する登録ユーザにより登録された旅行プランの旅行プラン名を特定する（ステップＳ２８０６）。

[0240] 具体的には、表示制御部２９０は、例えば、抽出された旅行プラン評価情報に含まれる旅行プラン名毎に、旅行プランデータベース２１０を検索し、

対応付けられた登録ユーザ名を取得する。そして、表示制御部 290 は、取得したユーザ名で、ユーザ属性データベース 230 を検索すれば、旅行プラン名の登録ユーザの属性を特定することができる。よって、表示制御部 290 は、抽出された旅行プラン評価情報に含まれる旅行プラン名のうち、閲覧ユーザと属性が一致する登録ユーザにより登録された旅行プラン名を特定できる。

[0241] 続いて、表示制御部 290 は、ステップ S 2806 で特定された旅行プラン名から順に、端末装置 300 に表示させる旅行プラン名の表示順を決定する（ステップ S 2807）。

[0242] 具体的には、表示制御部 290 は、閲覧ユーザと属性に近い登録ユーザにより登録された旅行プラン名から順に表示させる。したがって、この場合には、ステップ S 2806 で特定された旅行プラン名が最上位となる。次に、登録ユーザの属性が、閲覧ユーザの属性と 1 段階離れたている旅行プラン名が表示されることになる。

[0243] 続いて、表示制御部 290 は、ステップ S 2807 で決定した表示順に旅行プラン名を表示させる画面データを生成して端末装置 300 へ出力し（ステップ S 2808）、処理を終了する。

[0244] この例では、閲覧ユーザの属性と、属性が一致するユーザにより登録された旅行プラン名から順に端末装置 300 に表示させるため、ユーザの属性に応じた旅行プランを表示させることができる。

[0245] 本発明は、具体的に開示された実施形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲から逸脱することなく、種々の変形や変更が可能である。

符号の説明

- [0246] 100、100A、100B 表示制御システム
200、200A、200B 表示制御サーバ
210、210A 旅行プランデータベース
220 評価ポイントデータベース
230、230A ユーザ属性データベース

- 240 属性データベース
- 250、250A 旅行プラン評価データベース
- 260 重み付けデータベース
- 270、270A、270B 表示制御処理部
- 280、280A 登録制御部
- 282 カテゴリ付与部
- 283、283A 旅行プラン格納部
- 285 評価ポイント加算部
- 287、287A 評価情報生成部
- 288 評価情報格納部
- 290、290A、290B 表示制御部
- 292 属性特定部
- 293 評価情報抽出部
- 294 マッチング点数算出部
- 295 表示順決定部
- 296 画面データ出力部
- 297 重み付け部
- 299 点数合算部
- 300 端末装置
- 301 属性提供部
- 302 旅行プラン取得部
- 400 サーバ

請求の範囲

- [請求項1] 特定のユーザアカウントに対応づけた旅行プランの登録を受け付け、
登録された前記旅行プランに対する評価の入力を受け付け、
前記評価の入力に応じて、前記特定のユーザアカウントについて属性を特定し、
特定した前記属性に応じて、前記特定のユーザアカウントについて提供する旅行プランの表示を制御する、
処理をコンピュータに実行させることを特徴とする表示制御プログラム。
- [請求項2] 前記表示を制御する処理は、特定した前記属性に基づいて、登録された複数の前記旅行プランの表示順を決定し、表示させる、
ことを特徴とする請求項1記載の表示制御プログラム。
- [請求項3] 前記表示を制御する処理は、前記表示順において、前記特定のユーザアカウントの属性と同一の属性の他のユーザアカウントにより評価された旅行プランを上位にする、ことを特徴とする請求項2に記載の表示制御プログラム。
- [請求項4] 前記表示を制御する処理は、前記表示順において、前記特定のユーザアカウントの属性と同一の属性の他のユーザアカウントと対応づいた旅行プランを上位にする、ことを特徴とする請求項2又は3に記載の表示制御プログラム。
- [請求項5] 前記属性は、前記旅行プランに対する評価に応じた複数の段階を有し、
前記特定のユーザアカウントの属性と、前記他のユーザアカウントの属性との差が小さいほど、前記他のユーザアカウントにより入力された評価の重みを大きくし、
前記差が大きいほど、前記他のユーザアカウントにより入力された評価の重みを小さくする、ことを特徴とする請求項3又は4記載の表

示制御プログラム。

[請求項6] 前記表示を制御する処理は、ユーザアカウントと、前記旅行プランの分類を示すカテゴリ名との入力を受け付け、

前記カテゴリ名と対応付けられた旅行プランを抽出し、

前記旅行プラン毎に、旅行プランの評価と対応付いたユーザアカウントの属性と、入力された前記ユーザアカウントの属性との差に対応する重みから、前記ユーザアカウントについて、前記旅行プランに対する関心の高さを示す指標値を算出し、

前記指標値が大きい順に、提供する旅行プランを表示させる、ことを特徴とする請求項5記載の表示制御プログラム。

[請求項7] 前記特定のユーザアカウントにより前記旅行プランの登録を受け付けていない場合、前記特定のユーザアカウントの属性を所定の属性とする、ことを特徴とする請求項1乃至6の何れか一項に記載の表示制御プログラム。

[請求項8] 特定のユーザアカウントに対応づけた旅行プランの登録を受け付ける登録部と、

登録された前記旅行プランに対する評価の入力を受け付ける受付部と、

前記評価の入力に応じて、前記特定のユーザアカウントについて属性を特定する特定部と、

特定した前記属性に応じて、前記特定のユーザアカウントについて提供する旅行プランの表示を制御する表示制御部と、

を有することを特徴とする表示制御装置。

[請求項9] コンピュータによる表示制御方法であって、該コンピュータが、特定のユーザアカウントに対応づけた旅行プランの登録を受け付け、

登録された前記旅行プランに対する評価の入力を受け付け、

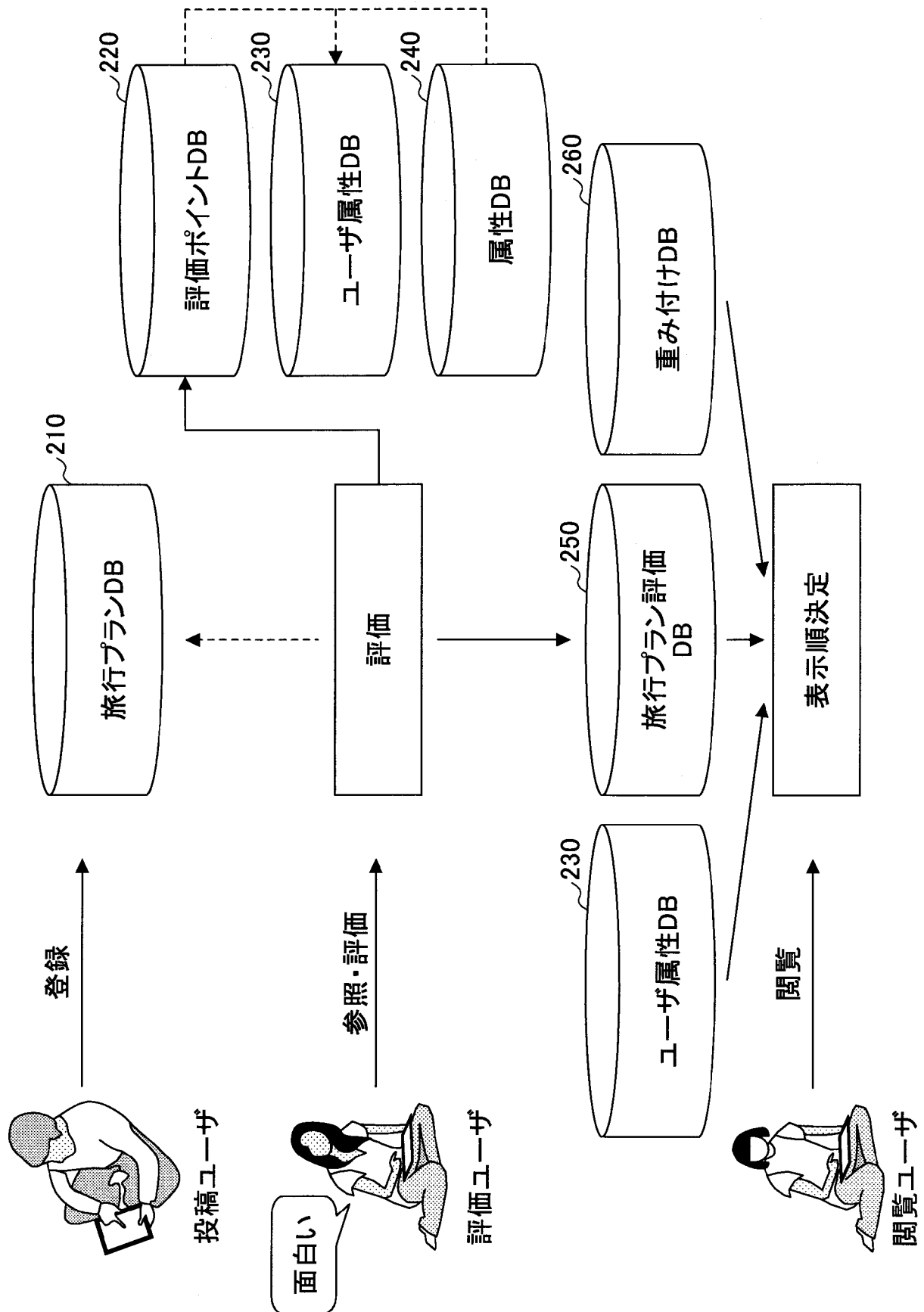
前記評価の入力に応じて、前記特定のユーザアカウントについて属性を特定し、

特定した前記属性に応じて、前記特定のユーザアカウントについて提供する旅行プランの表示を制御する、ことを特徴とする表示制御方法。

[請求項10]

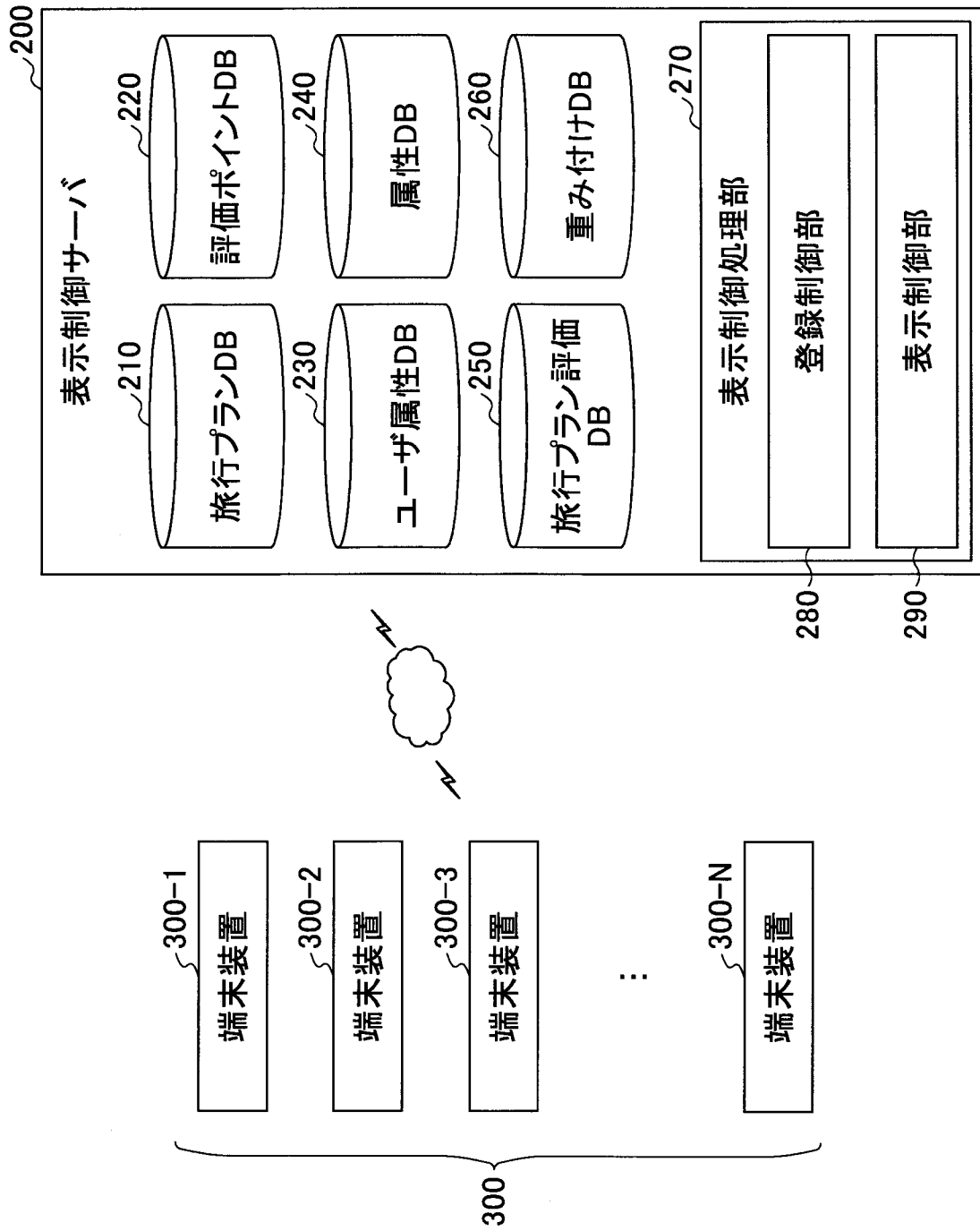
旅行プランの登録を受け付け、
登録された前記旅行プランに対する評価の入力を受け付け、
前記旅行プランの表示要求を受けて、前記表示要求と対応付いた第1のユーザアカウントの属性を特定し、
特定した前記属性と、前記評価と対応付いた第2のユーザアカウントの属性とに応じて、旅行プランの表示を制御する、
処理をコンピュータに実行させることを特徴とする表示制御プログラム。

[図1]



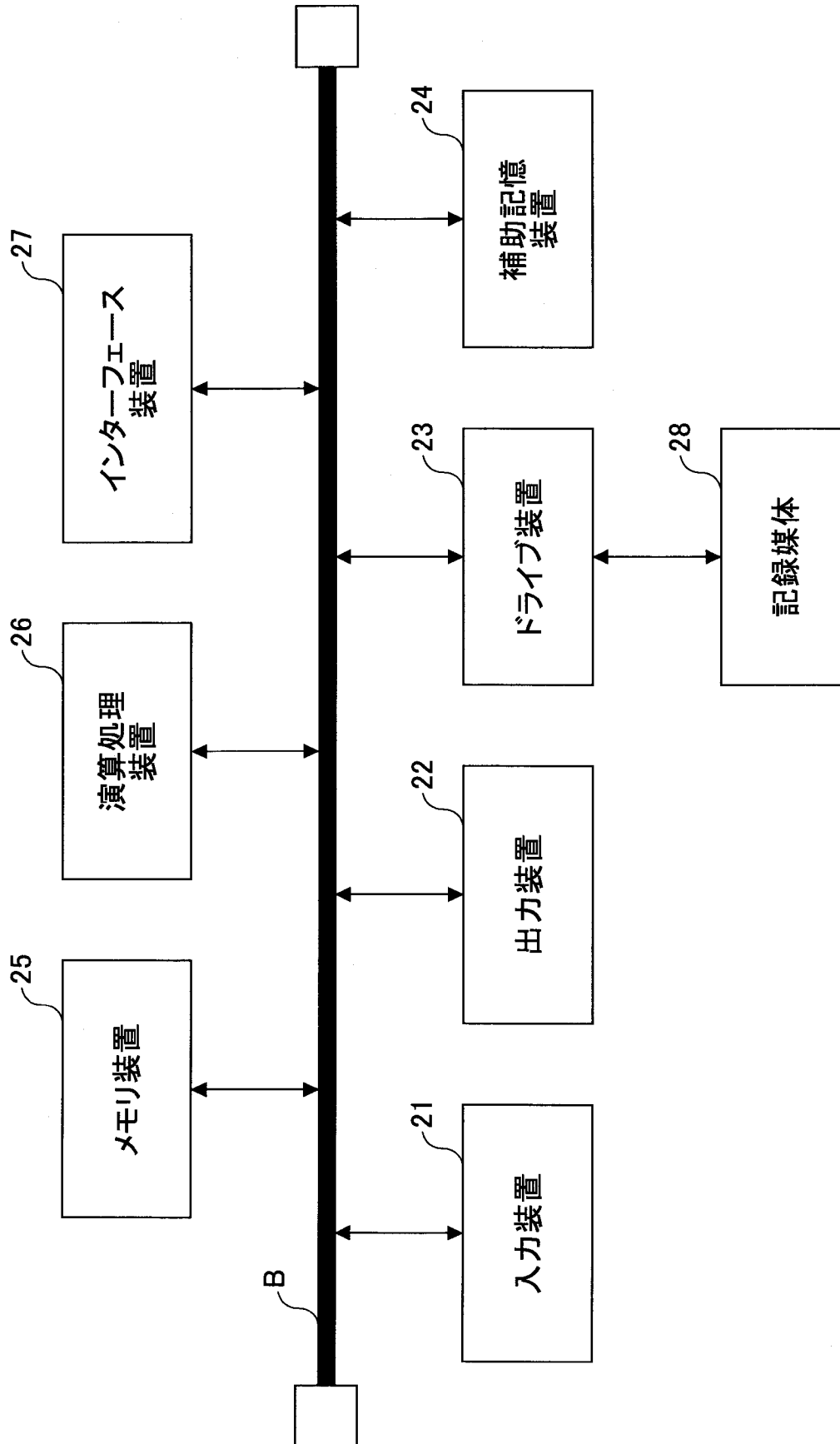
[図2]

100



[図3]

200



[図4]

210

旅行プラン名	登録 ユーザ名	カテゴリ名	登録日
道央溪流釣り ツアー	AA	溪流釣り	2016/4/10
福岡花見ツアー	AA	花見	2016/4/15
カナダで フィッシングライフ	AA	溪流釣り	2016/2/1
温泉めぐり ツアー	FF	温泉	2016/4/9

} 211

[図5]

220

評価内容	評価ポイント
面白い	10
役立った	20
行ってみた	50

[図6]

230

ユーザ名	カテゴリ名	属性	合計評価ポイント
AA	溪流釣り	マニア	180
AA	花見	ファン	70
EE	溪流釣り	フリーク	110

[図7]

240

属性	合計評価ポイント
マニア	150以上
フリーク	80～149
ファン	1～79
一般	0

[図8]

250

旅行プラン名	評価 ユーザ名	カテゴリ名	評価ユーザの 属性	評価内容	評価ポイント
道央渓流釣り ツアー	EE	渓流釣り	フリーク	役立った	20
カナダで フィッシングドライブ	FF	渓流釣り	マニア	役立った	20
道央渓流釣り ツアー	DD	渓流釣り	一般	行ってみた	50
函館カニ満腹 ツアー	GG	グルメ	フリーク	行ってみた	50

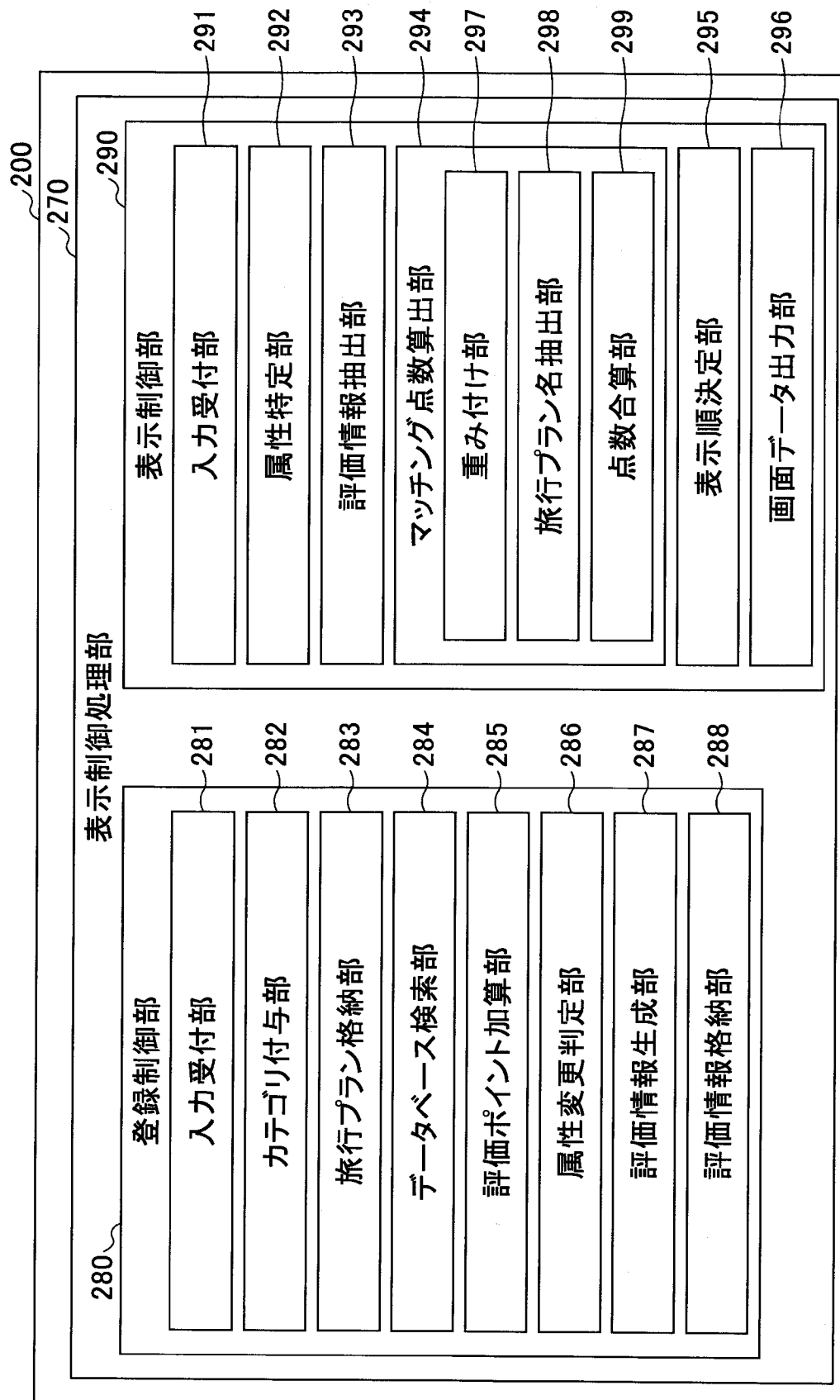
251 253 252

[図9]

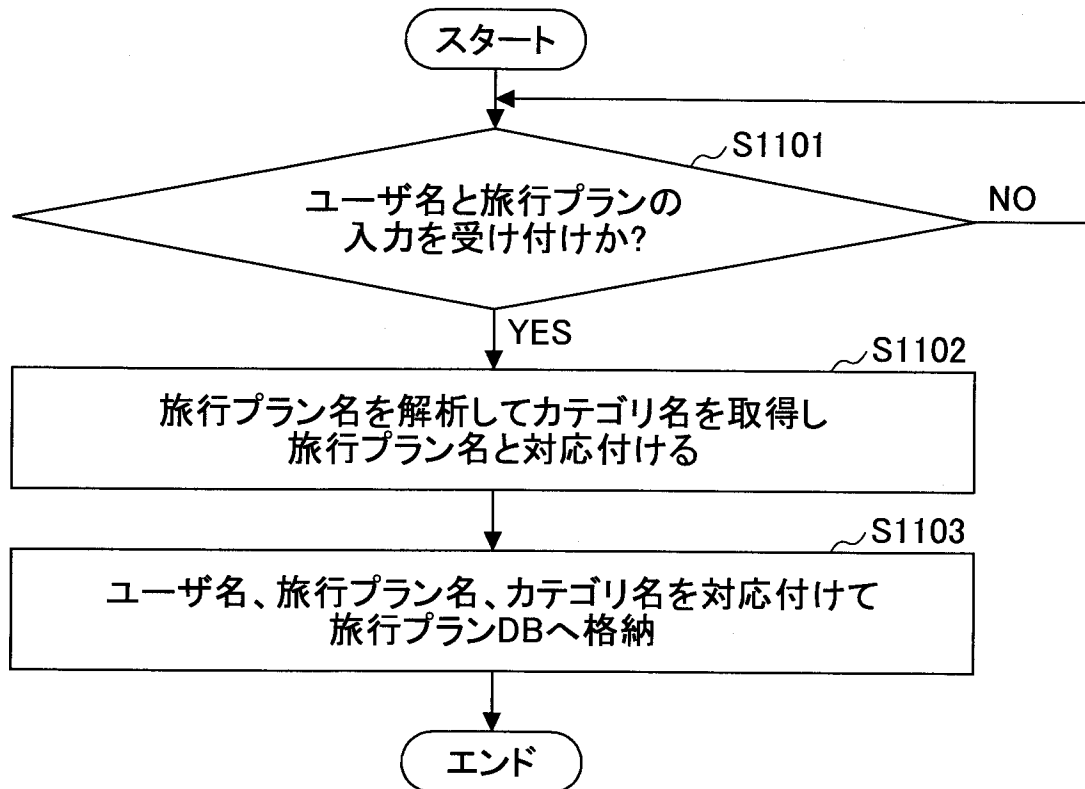
260

属性間の距離	重み
0	5倍
1	2倍
2	1倍
3	0倍

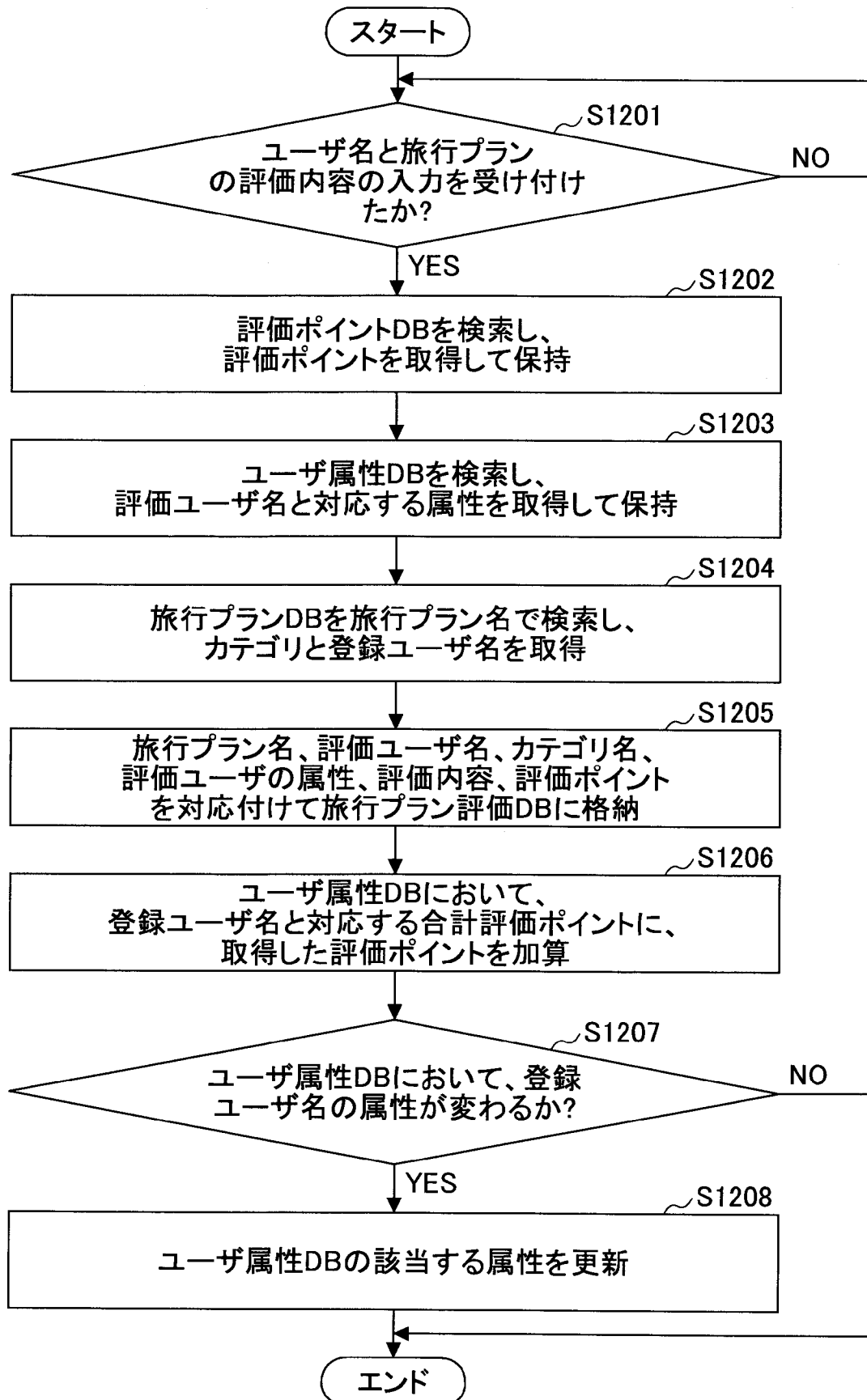
[図10]



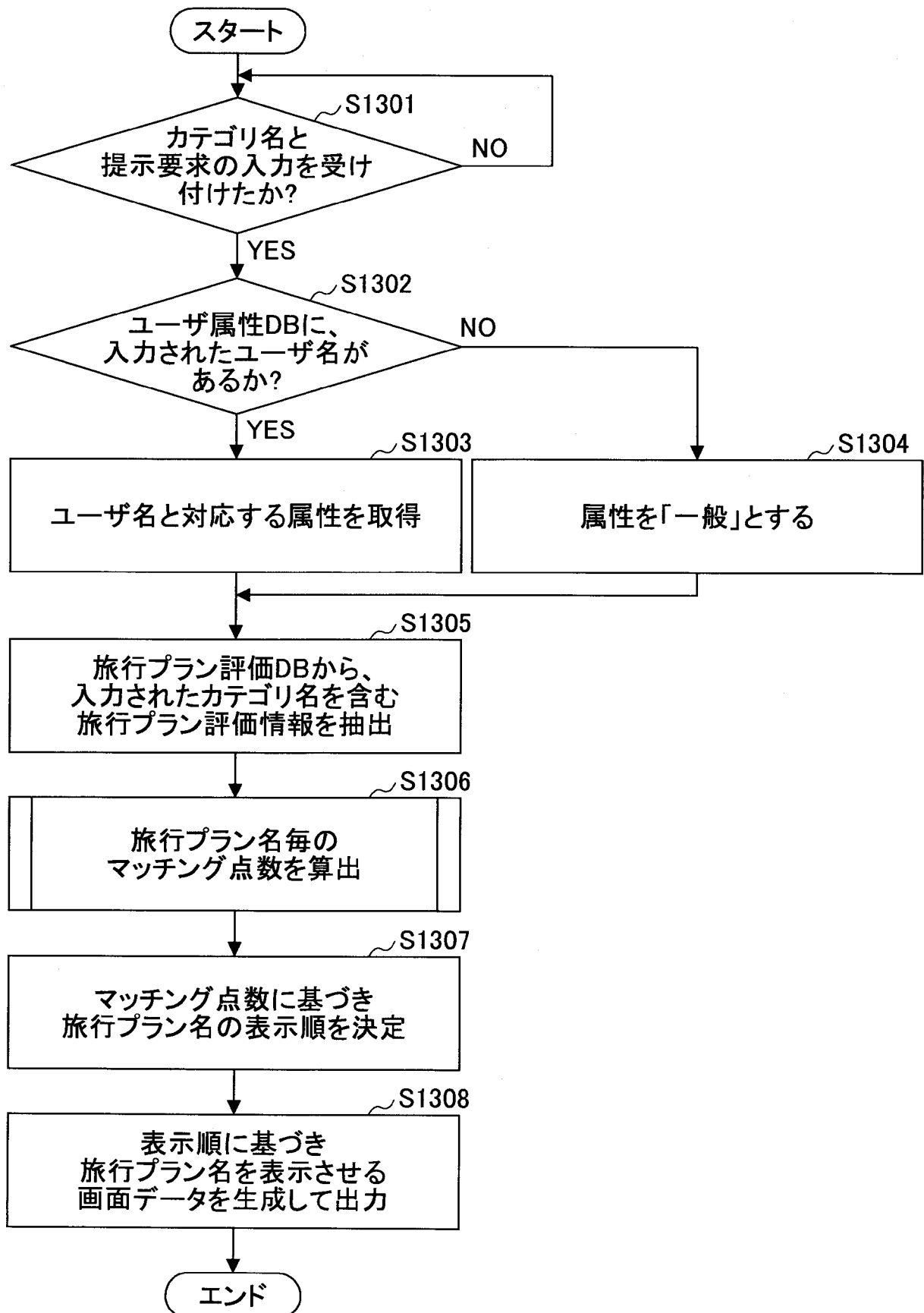
[図11]



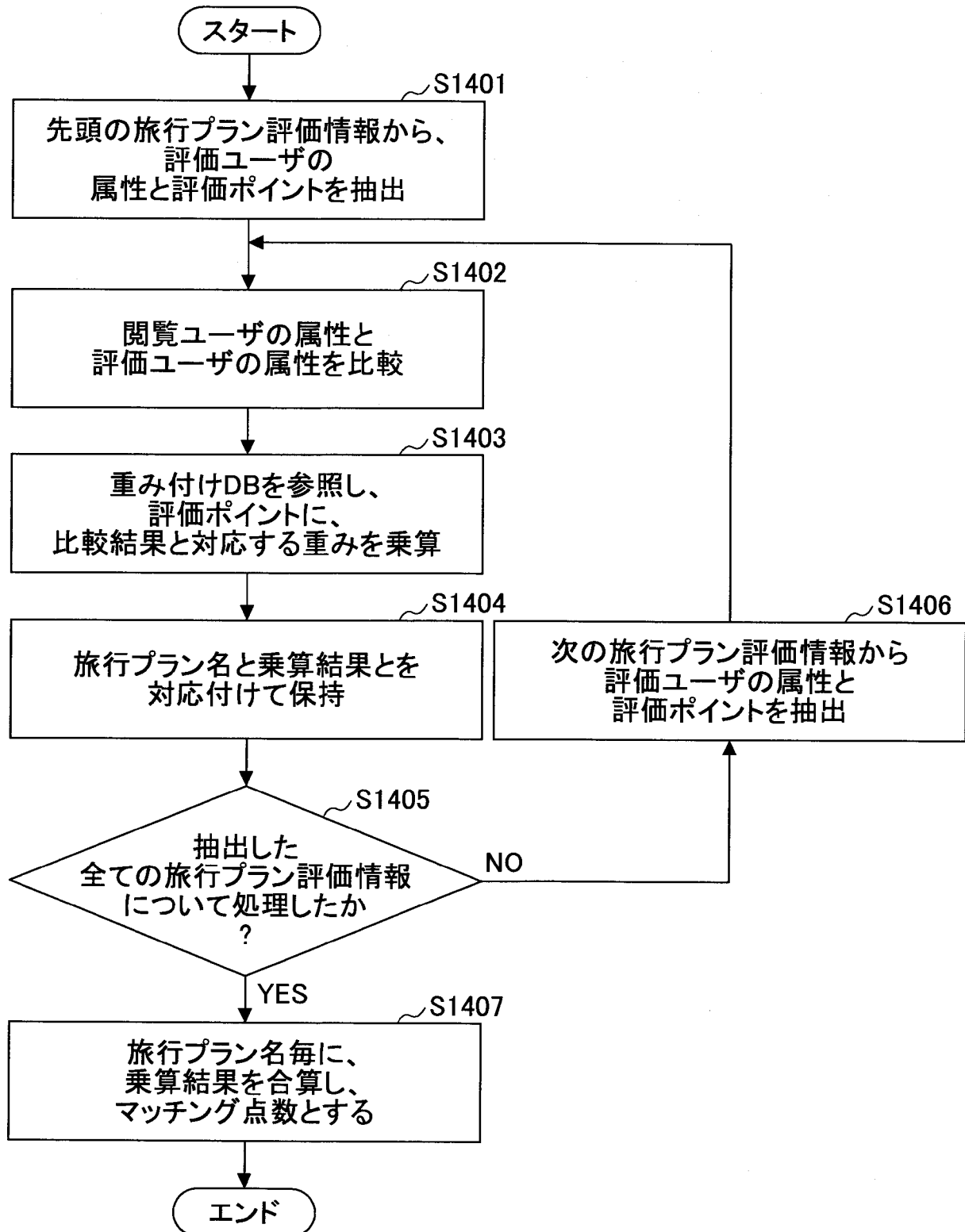
[図12]



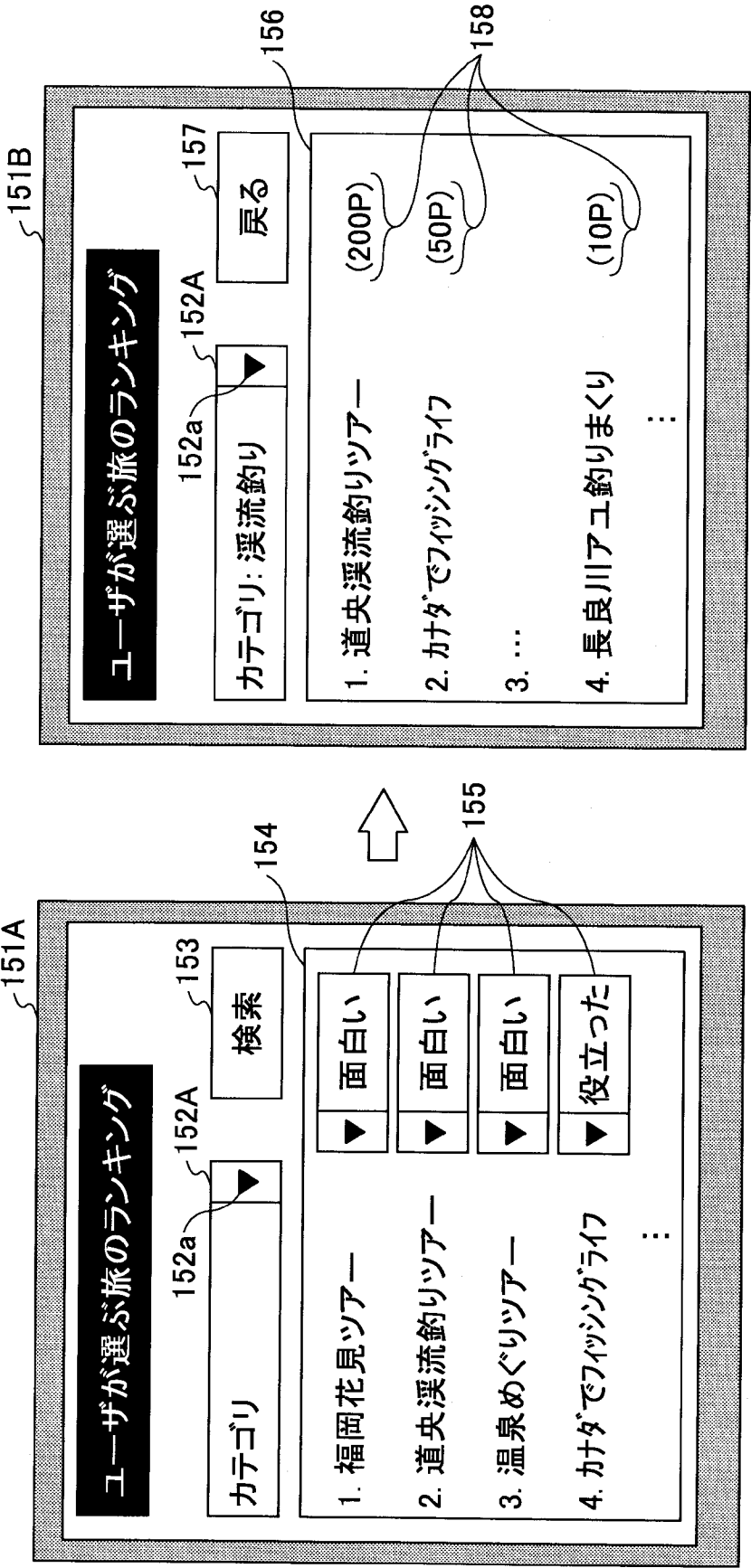
[図13]



[図14]

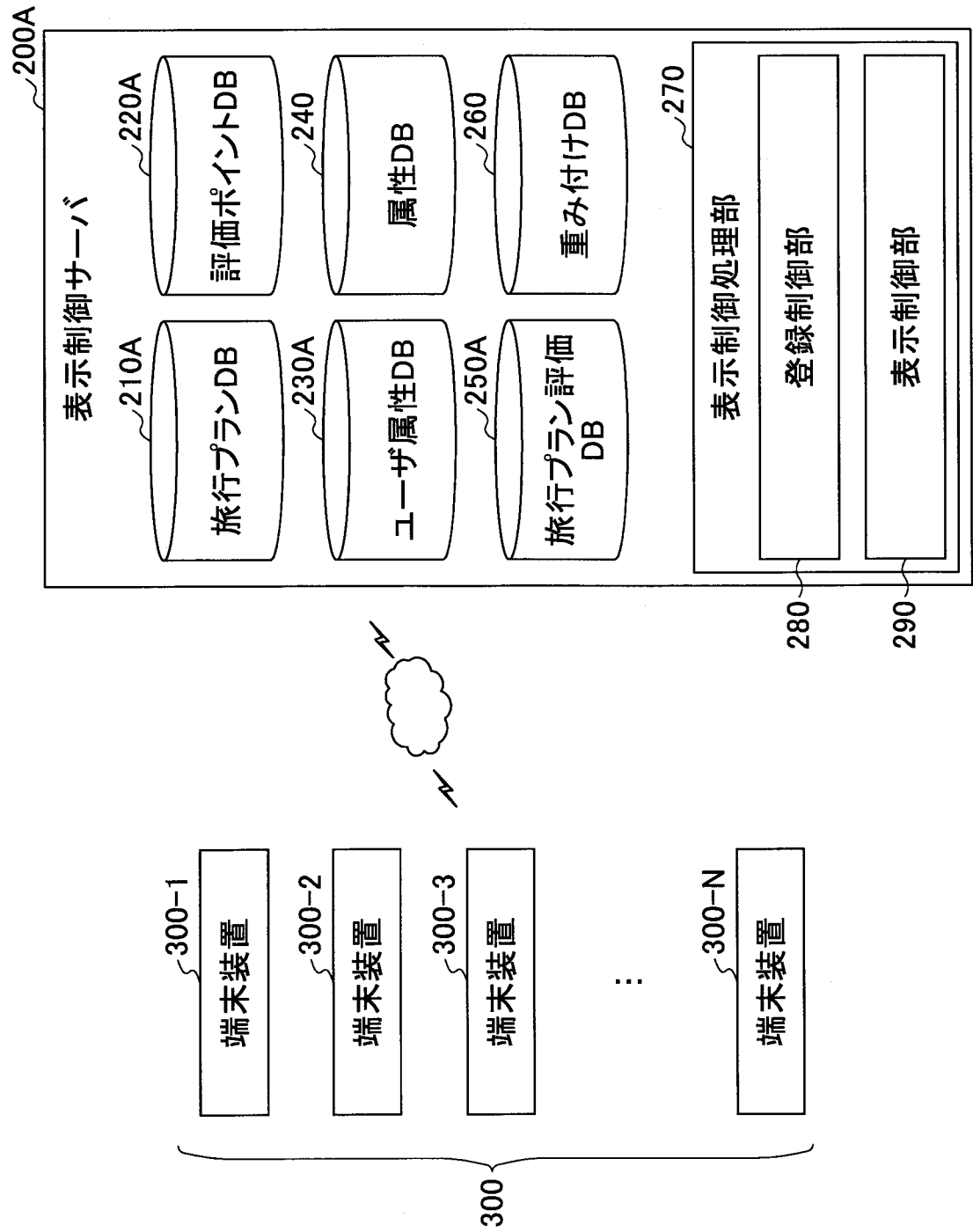


[図15]



[図16]

100A



[図17]

210A

旅行プラン名	登録 ユーザ名	登録日
道央溪流釣り ツアー	AA	2016/4/10
福岡花見ツアー	AA	2016/4/15
カナダで フィッシングライフ	AA	2016/2/1
温泉めぐり ツアー	FF	2016/4/9

[図18]

230A

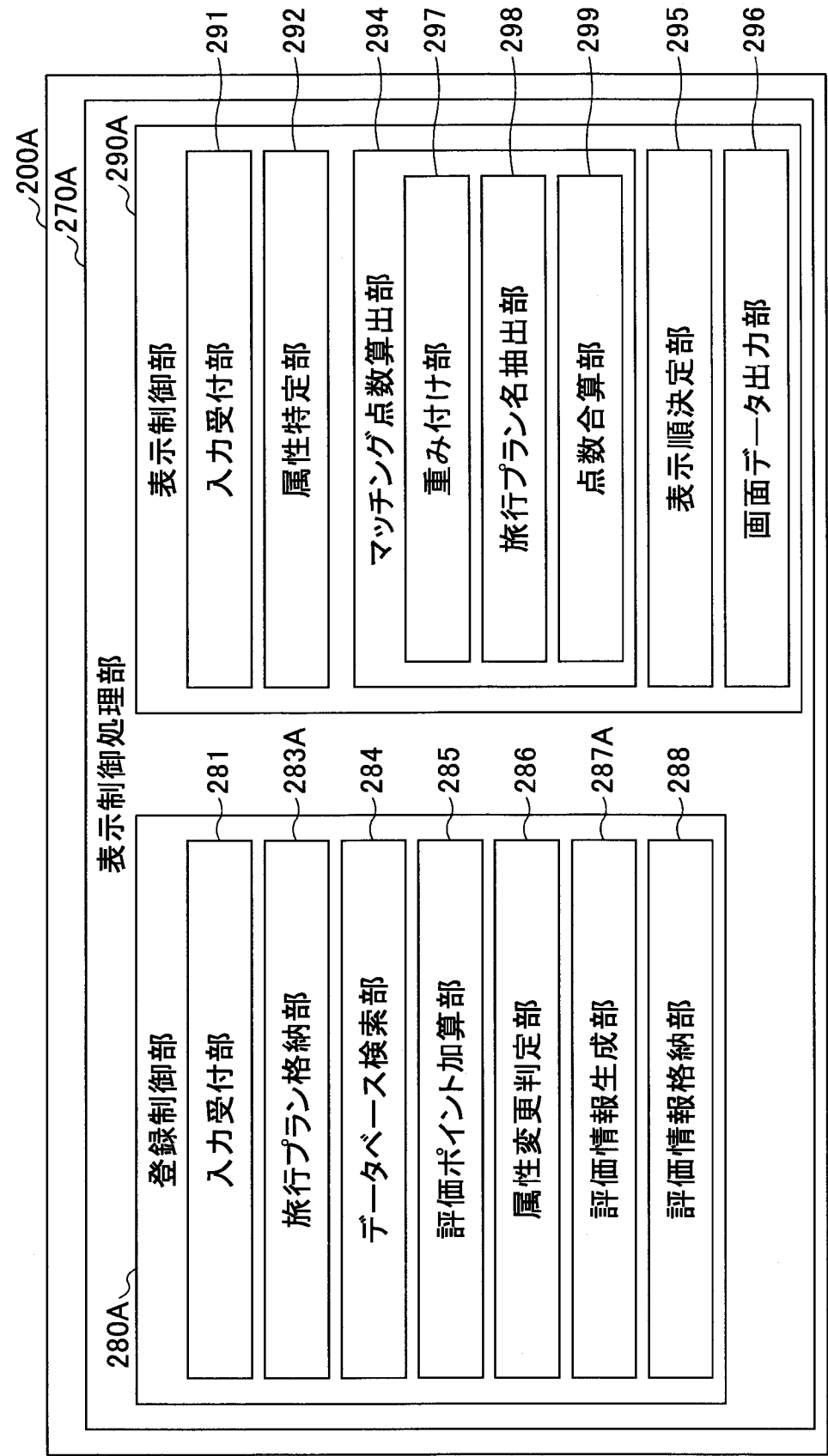
ユーザ名	属性	合計評価ポイント
AA	マニア	250
EE	フリーク	110

[図19]

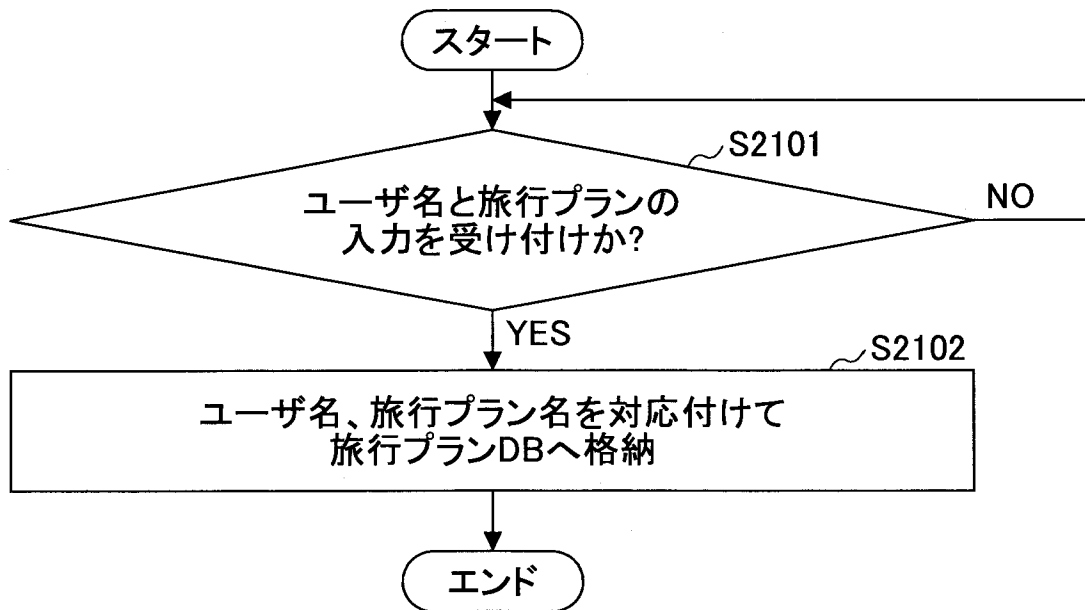
250A

旅行プラン名	評価 ユーザ名	評価ユーザの 属性	評価内容	評価ポイント
道央渓流釣り ツアー	EE	フリーク	役立った	20
カナダで フィッシンググライフ	FF	マニア	役立った	20
道央渓流釣り ツアー	DD	一般	行ってみた	50
函館カニ満腹 ツアー	GG	フリーク	行ってみた	50

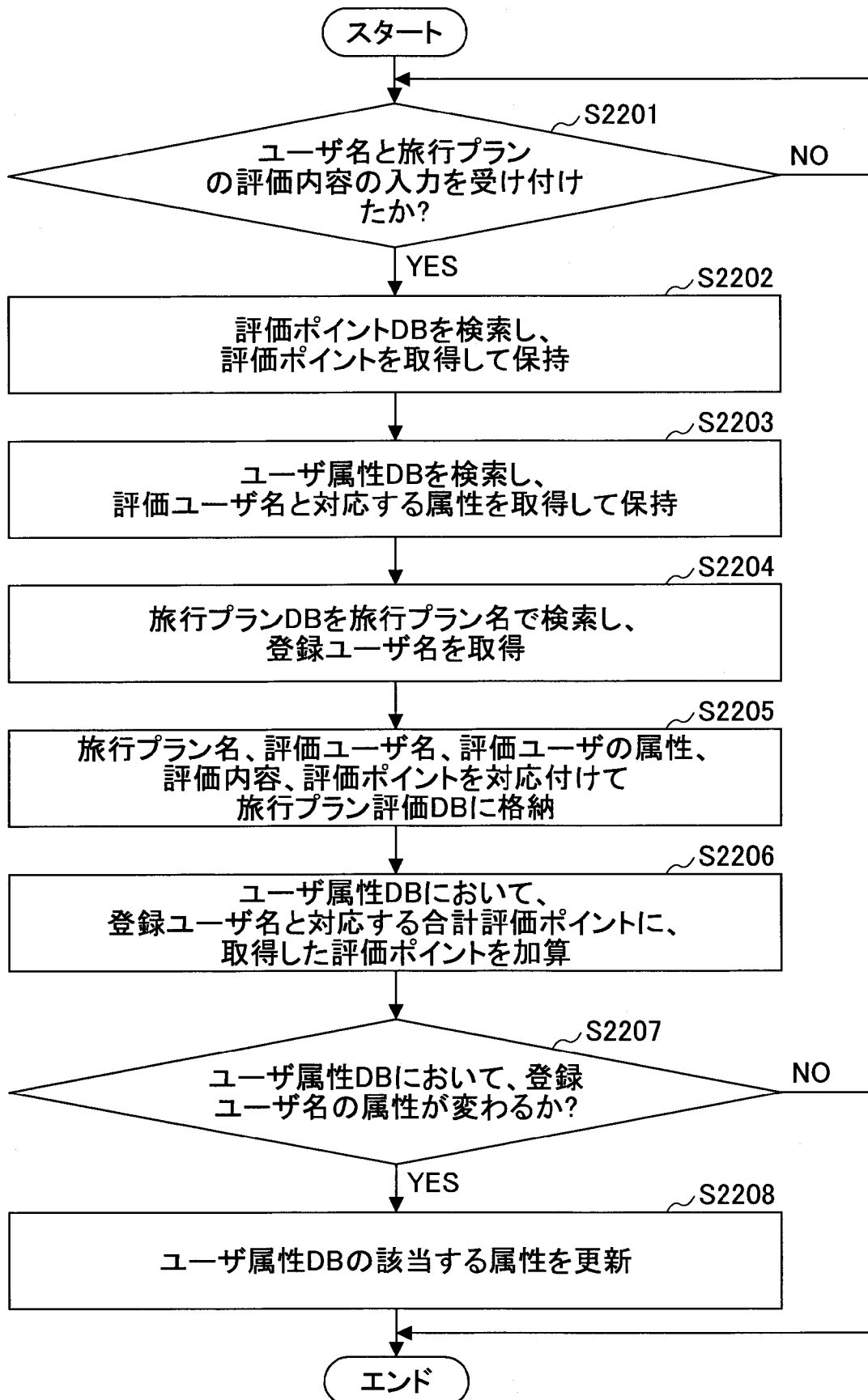
[図20]



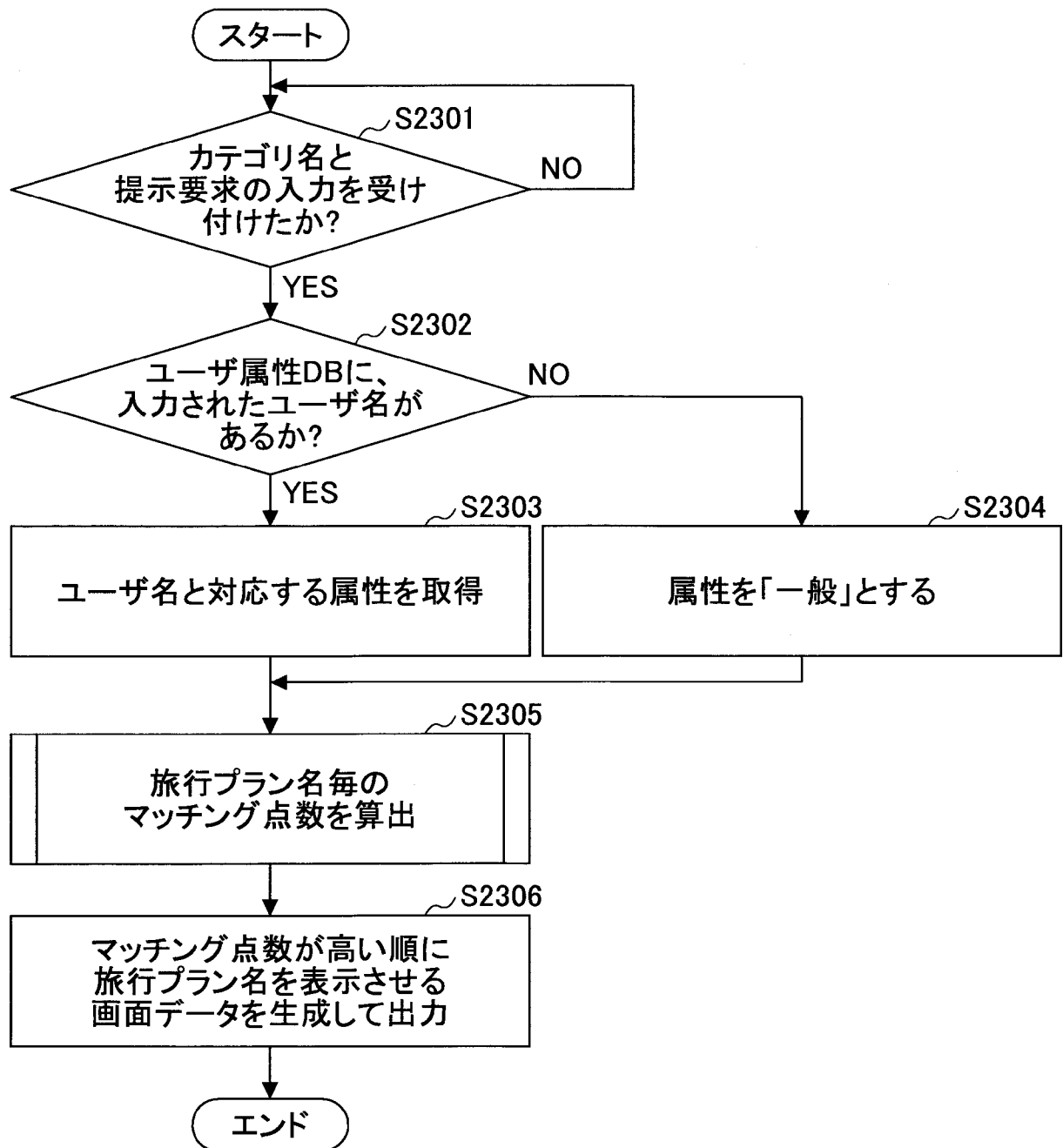
[図21]



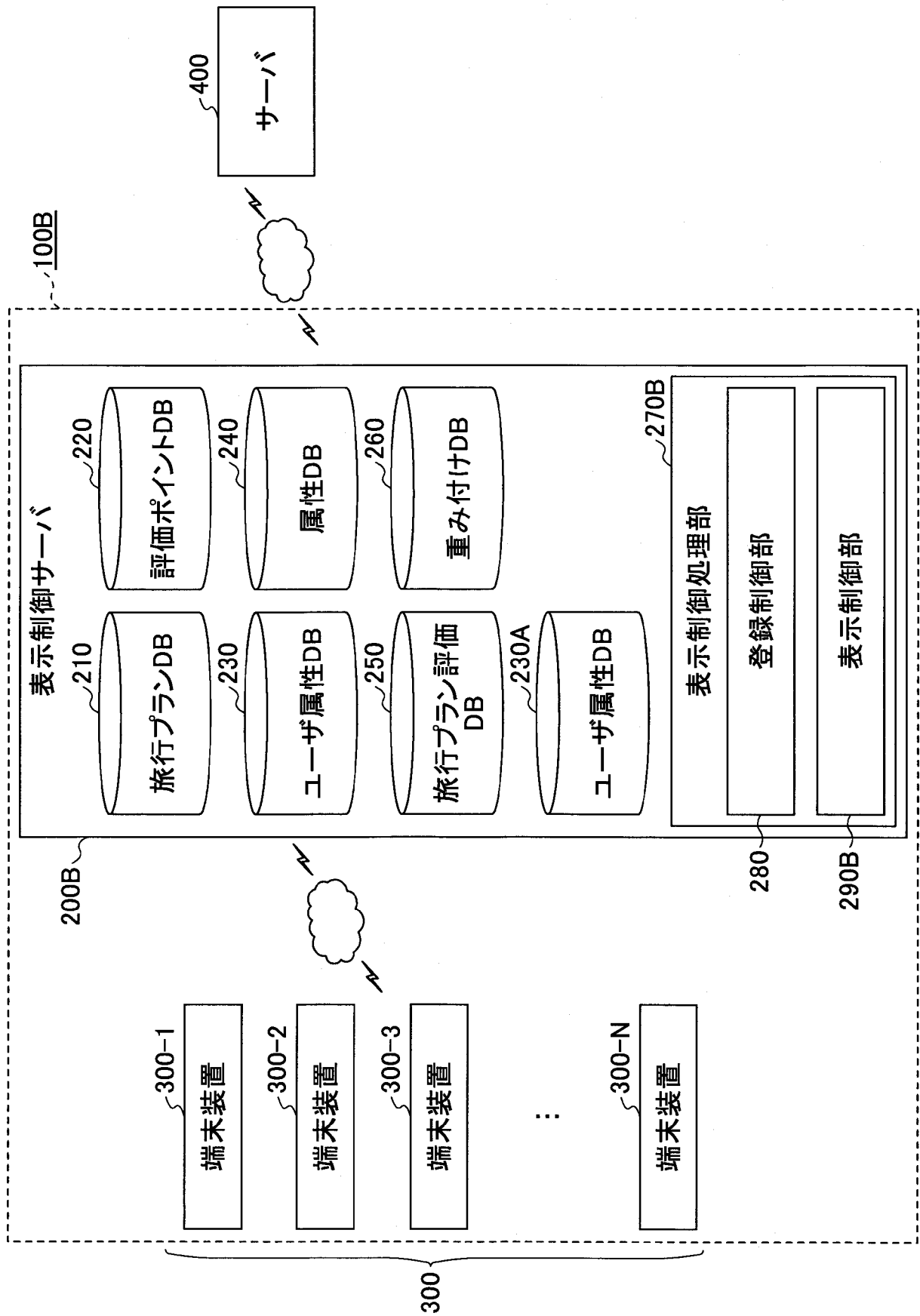
[図22]



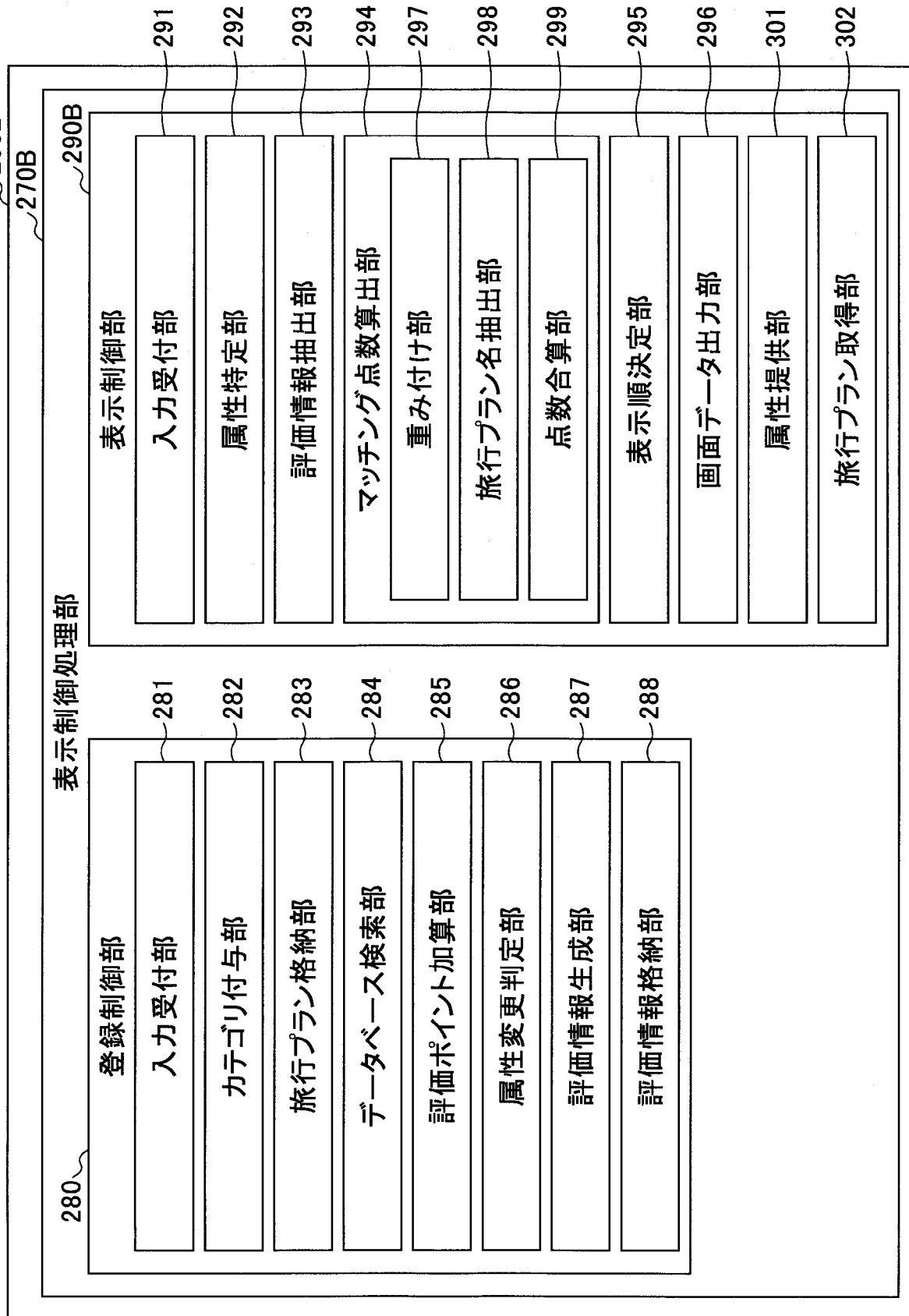
[図23]



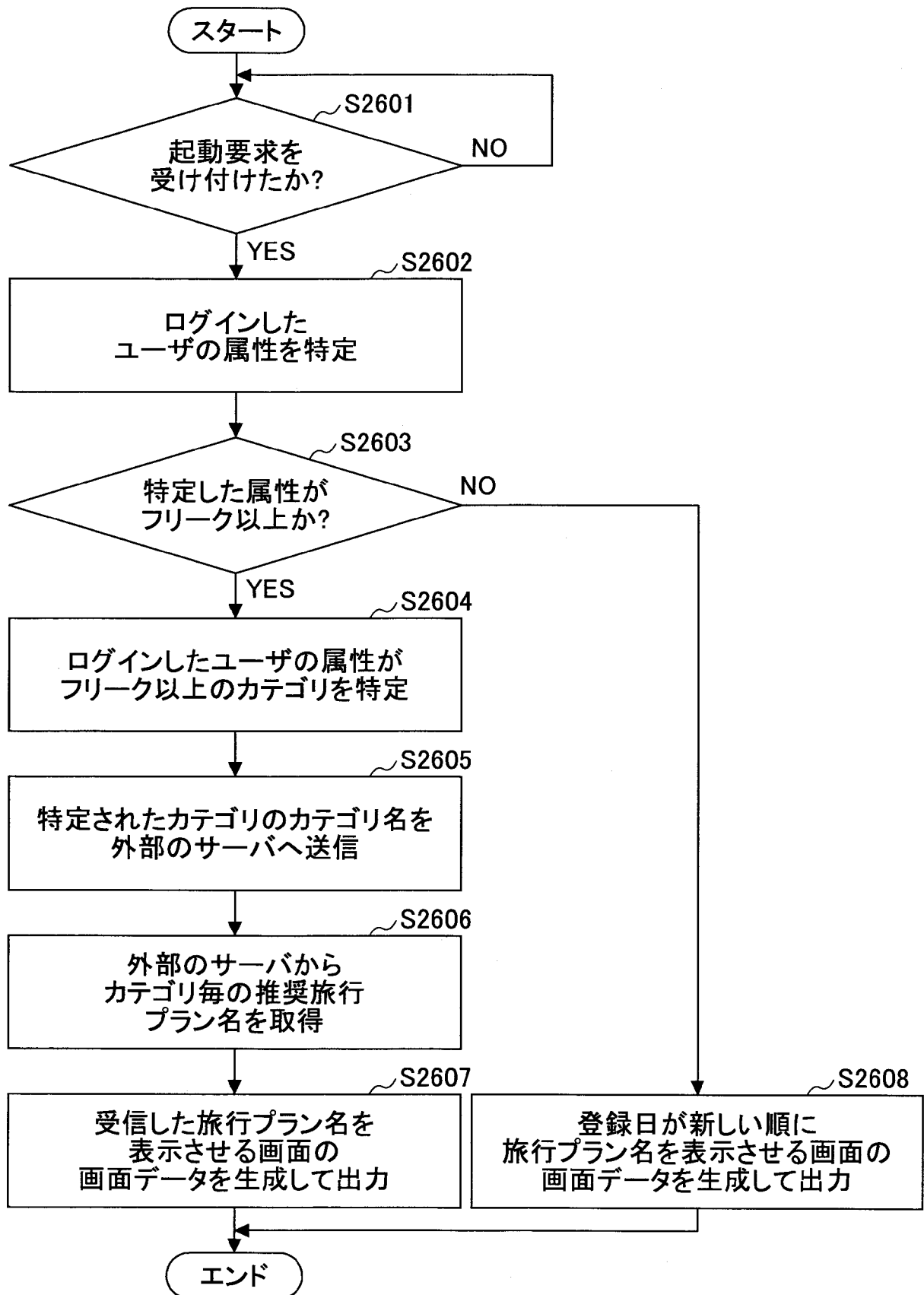
[図24]



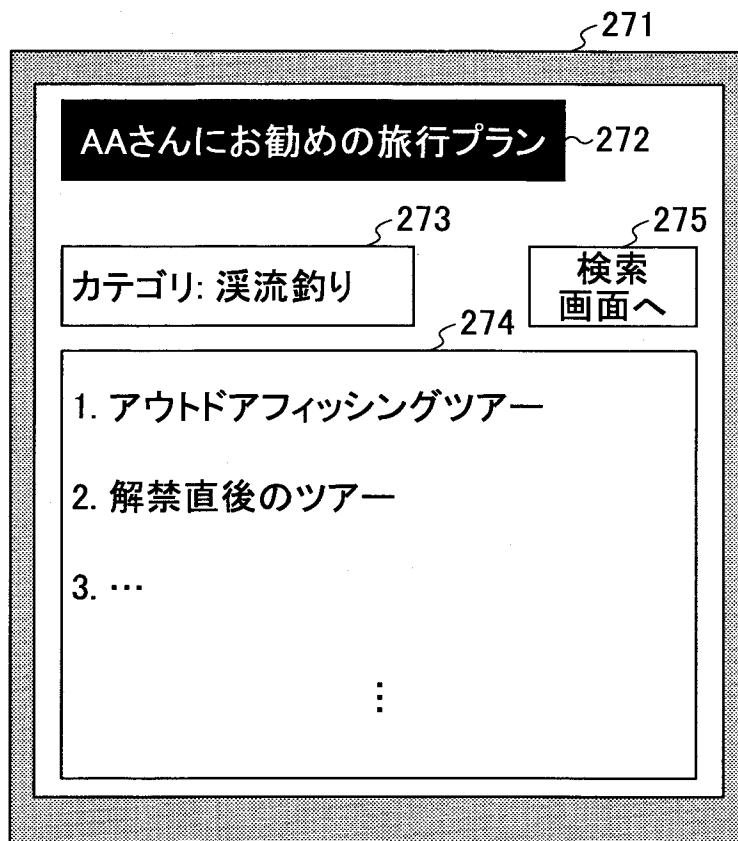
[図25]



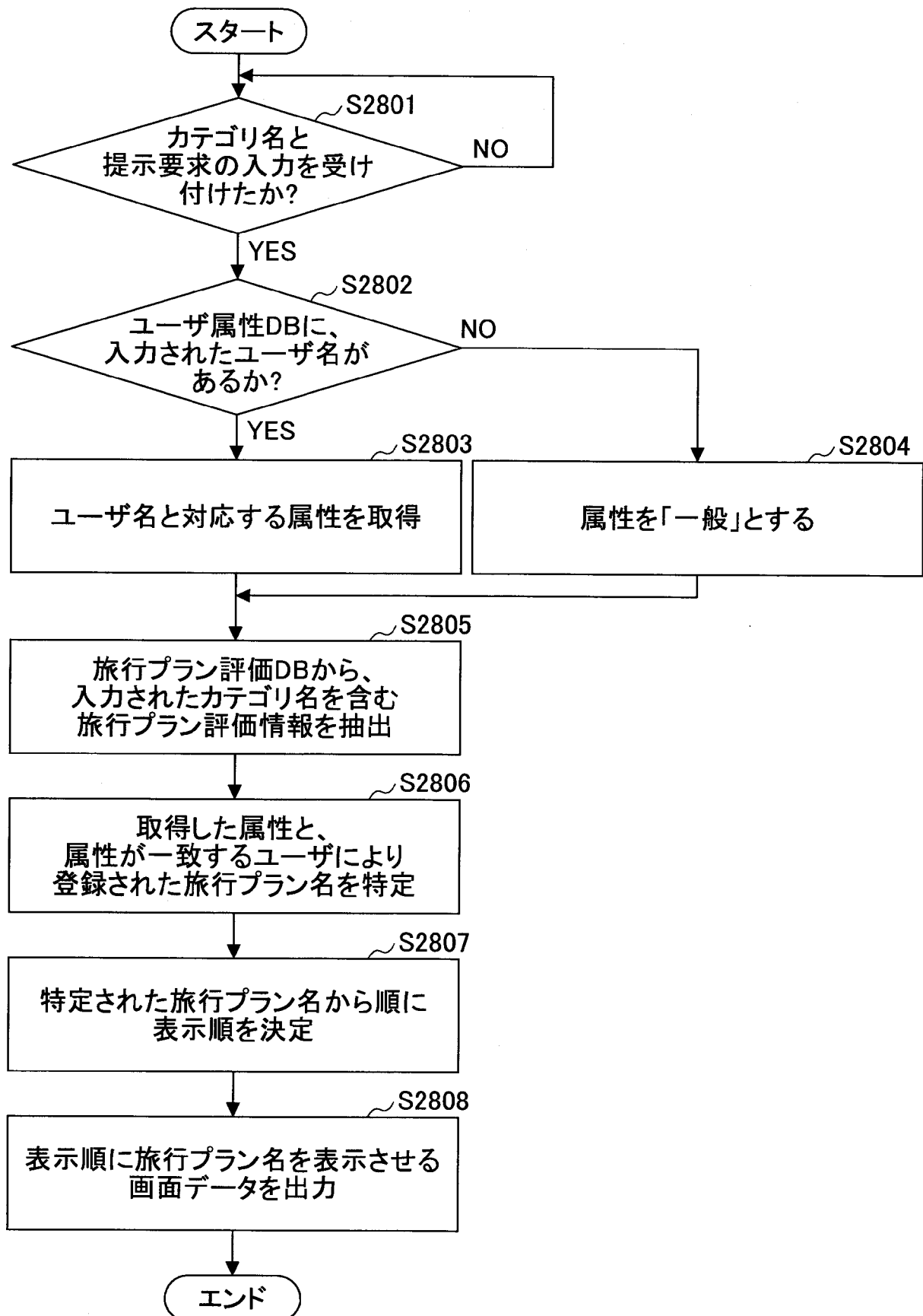
[図26]



[図27]



[図28]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/064979

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q50/14(2012.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q50/14

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2016
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2016	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2016

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2004-227354 A (Nippon Telegraph and Telephone Corp.), 12 August 2004 (12.08.2004), paragraphs [0015] to [0054] (Family: none)	1-10
Y	WO 2016/075827 A1 (Rakuten, Inc.), 19 May 2016 (19.05.2016), abstract (Family: none)	1-10
Y	JP 2015-158926 A (JVC Kenwood Corp.), 03 September 2015 (03.09.2015), paragraph [0134]; fig. 18, 19 & JP 2011-227872 A	4-6

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
04 August 2016 (04.08.16)

Date of mailing of the international search report
16 August 2016 (16.08.16)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/064979

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 2007/148817 A1 (NEC Corp.), 27 December 2007 (27.12.2007), 1st example (Family: none)	5-6
A	JP 2005-122369 A (KDDI Corp.), 12 May 2005 (12.05.2005), entire text (Family: none)	1-10
A	JP 2014-92876 A (Yahoo Japan Corp.), 19 May 2014 (19.05.2014), entire text (Family: none)	1-10
A	JP 2010-61601 A (Sony Corp.), 18 March 2010 (18.03.2010), entire text & US 2010/0070454 A1 & CN 101674458 A	1-10

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. G06Q50/14(2012.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. G06Q50/14

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2016年
日本国実用新案登録公報	1996-2016年
日本国登録実用新案公報	1994-2016年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2004-227354 A（日本電信電話株式会社）2004.08.12, 第15-54段落（ファミリーなし）	1-10
Y	WO 2016/075827 A1（楽天株式会社）2016.05.19, 要約（ファミリーなし）	1-10
Y	JP 2015-158926 A（株式会社JVCケンウッド）2015.09.03, 第134段落、18、19図 & JP 2011-227872 A	4-6

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

04.08.2016

国際調査報告の発送日

16.08.2016

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

小原 正信

5 L

3803

電話番号 03-3581-1101 内線 3562

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	WO 2007/148817 A1 (日本電気株式会社) 2007.12.27, 第1の実施例 (ファミリーなし)	5-6
A	JP 2005-122369 A (KDD I 株式会社) 2005.05.12, 全文 (ファミ リーなし)	1-10
A	JP 2014-92876 A (ヤフー株式会社) 2014.05.19, 全文 (ファミ リーなし)	1-10
A	JP 2010-61601 A (ソニー株式会社) 2010.03.18, 全文 & US 2010/0070454 A1 & CN 101674458 A	1-10